

2025 年 10 月 15 日

各 位

株式会社北洋銀行

お客さま 40 社と「サステナブル経営支援ファイナンス」 【目標選択型】の契約を締結しました

北洋銀行(取締役頭取 津山 博恒)は、お客さまのサステナブル経営を支援しています。

今般、2025 年 9 月に、下記の通り、お客さま 40 社と「サステナブル経営支援ファイナンス」【目標選択型】の契約を締結しました。本ファイナンスは、持続可能な経営の実践に向け、北海道の SDGs 推進ビジョン等に整合した目標設定と、社会価値創出のストーリー発信をサポートするご融資です。

近年、社会的にサステナビリティへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がサステナブルな事業活動を推進しています。

当行は今後も、ほくようサステナブルファイナンス等を通じ、北海道を営業基盤とする金融機関として環境・社会問題に前向きに取り組むお客さまを支援してまいります。

記

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会 社 名	株式会社アプリーズ
代 表 者	代表取締役 西根 直樹
所 在 地	北海道札幌市中央区南 1 条西 5 丁目 19 番地 1 郵政福祉札幌第 1 ビル 3F

会 社 名	株式会社イーエスホーム
代 表 者	代表取締役 板倉 政敏
所 在 地	北海道札幌市清田区里塚 1 条 1 丁目 3 番 2 1 号

会 社 名	株式会社 I C H I
代 表 者	代表取締役 盛 大地
所 在 地	北海道札幌市中央区南 5 条西 4 丁目 TM-29 ビル 3 F

会 社 名	株式会社 H. F. T
代 表 者	代表取締役 大場 博勇
所 在 地	北海道江別市萌えぎ野西 1 7 番地の 3

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

2025 年 10 月 15 日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会 社 名	株式会社A' s w o r k s
代 表 者	代表取締役 朝井 悠太
所 在 地	北海道札幌市北区新琴似町 5 5 5 番地 2 6

会 社 名	大元水産株式会社
代 表 者	代表取締役 大崎 元司
所 在 地	北海道札幌市中央区北 1 条西 2 7 丁目 2 番 1 0 - 1 1 0 2 号

会 社 名	株式会社菅野塗装
代 表 者	代表取締役 菅野 胤仙
所 在 地	北海道室蘭市八丁平 4 丁目 3 3 - 4

会 社 名	株式会社G U I L D C A R E
代 表 者	代表取締役 馬場 竜介
所 在 地	北海道札幌市白石区平和通 6 丁目南 8 - 1 8

会 社 名	合同会社K O S K e e
代 表 者	代表社員 川北 聡美
所 在 地	北海道札幌市東区北 39 条東 1 丁目 4-1-506

会 社 名	株式会社J U G A A D
代 表 者	代表取締役 成田 一博
所 在 地	北海道札幌市清田区清田 7 条 4 丁目 3 番 2 9 号

会 社 名	株式会社白石ゴム製作所
代 表 者	代表取締役 千葉 武雄
所 在 地	北海道札幌市白石区北郷 4 条 4 丁目 2 0 - 1 7

会 社 名	株式会社S i n
代 表 者	代表取締役 山口 森
所 在 地	北海道札幌市白石区平和通 1 1 丁目北 2 番 2 7 号

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

2025年10月15日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会 社 名	株式会社Second Grow
代 表 者	代表取締役 吉田 峻
所 在 地	北海道札幌市手稲区稲穂3条1丁目3番27号

会 社 名	株式会社外崎工作所
代 表 者	代表取締役 外崎 良治
所 在 地	北海道旭川市工業団地5条3丁目4番13号

会 社 名	株式会社大鐵
代 表 者	代表取締役 伊藤 豊
所 在 地	北海道札幌市中央区大通東3丁目4番地

会 社 名	有限会社耐塗塗装
代 表 者	代表取締役 山崎 憲篤
所 在 地	北海道登別市栄町3丁目2-4

会 社 名	株式会社ダイヤ
代 表 者	代表取締役 梅津 周平
所 在 地	北海道札幌市南区川沿13条2丁目4-16

会 社 名	高橋AYO工業株式会社
代 表 者	代表取締役 高橋 啓史
所 在 地	北海道札幌市手稲区前田4条8丁目3-1

会 社 名	竹田電気株式会社
代 表 者	代表取締役 竹田 悦郎
所 在 地	北海道十勝郡浦幌町宝町17

会 社 名	株式会社武田プラスチック工業
代 表 者	代表取締役 武田 秀聡
所 在 地	北海道札幌市北区新川西4条3丁目4-15

《北洋銀行グループサステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

2025 年 10 月 15 日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会 社 名	株式会社だるま食品本舗
代 表 者	代表取締役 工藤 哲也
所 在 地	北海道函館市西桔梗町 5 8 9 - 2 1 6

会 社 名	テクノコネクト株式会社
代 表 者	代表取締役 畠山 勇孝
所 在 地	北海道札幌市白石区菊水元町 1 条 2 丁目 3 番 8 号

会 社 名	株式会社デザインオフィス ALINA
代 表 者	代表取締役 高橋 裕之
所 在 地	北海道札幌市東区本町 1 条 3 丁目 7 - 1 9

会 社 名	株式会社テムズ
代 表 者	代表取締役 宮田 輝延
所 在 地	北海道札幌市中央区円山西町 3 丁目 4 番 1 6 号

会 社 名	株式会社十勝美濃農場
代 表 者	代表取締役 美濃 志拓
所 在 地	北海道中川郡池田町川合 3 9 番地 2

会 社 名	株式会社トミナガ建設
代 表 者	代表取締役 富永 富志男
所 在 地	北海道日高郡新ひだか町静内末広町 2 丁目 3 - 1 4

会 社 名	有限会社丹羽工業
代 表 者	取締役 丹羽 和徳
所 在 地	北海道札幌市東区東雁来 8 条 4 丁目 1 - 8

会 社 名	株式会社 NEXT INNOVATION
代 表 者	代表取締役 栗林 大輔
所 在 地	北海道札幌市中央区南 1 0 条西 1 丁目 1 番 6 5 号 1 1 . C O N C E P T S P E R A R E 5 階 A

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

2025 年 10 月 15 日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会 社 名	有限会社B. C. S.
代 表 者	代表取締役 高橋 司
所 在 地	北海道沙流郡日高町富浜 1 5 8

会 社 名	有限会社ヒロセ物流企画
代 表 者	代表取締役 廣瀬 隆
所 在 地	北海道石狩市新港西 3 丁目 7 6 3 番地 4

会 社 名	ファスニンググループ
代 表 者	代表取締役 星 英明
所 在 地	北海道札幌市東区丘珠町 499-1

会 社 名	株式会社プライドライナー
代 表 者	代表取締役 樋口 和人
所 在 地	北海道上川郡清水町南 1 条西 4 丁目 1 7 番地 1

会 社 名	北旺工業有限会社
代 表 者	代表取締役 港川 久男
所 在 地	北海道石狩市親船東 3 条 1 丁目 2 1 0

会 社 名	ボドバーレ株式会社
代 表 者	代表取締役 板谷 孝之
所 在 地	北海道札幌市中央区南 7 条西 1 2 丁目 4 番 3 号

会 社 名	株式会社丸一小林電設
代 表 者	代表取締役 小林 一
所 在 地	北海道札幌市手稲区前田 1 条 3 丁目 3 番 1 0 号

会 社 名	株式会社ミートプラザかやね
代 表 者	代表取締役 茅根 靖衛
所 在 地	北海道札幌市豊平区月寒東 3 条 7 丁目 2 番 2 号

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

2025 年 10 月 15 日

サステナブル経営支援ファイナンス【目標選択型】ご契約企業の概要(五十音順)

会 社 名	株式会社みしな
代 表 者	代表取締役 宮間 史明
所 在 地	北海道上川郡清水町御影南 1 線 5 5 番地 3 3

会 社 名	有限会社山崎工務店
代 表 者	代表取締役 山崎 勝幸
所 在 地	北海道札幌市中央区南 9 条西 5 丁目 1 - 5

会 社 名	りんご動物病院さっぽろ犬猫歯科
代 表 者	院長 松野 裕子
所 在 地	北海道札幌市西区琴似 3 条 2 丁目 8-18 Luce Della Citta Stella 琴似 101

会 社 名	ワンダーストレージホールディングス株式会社
代 表 者	代表取締役 佐藤 恵輔
所 在 地	北海道札幌市白石区南郷通 1 丁目北 8 番 1 号ディノス札幌白石ビル 1 階

以 上

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

株式会社アプリーズ

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

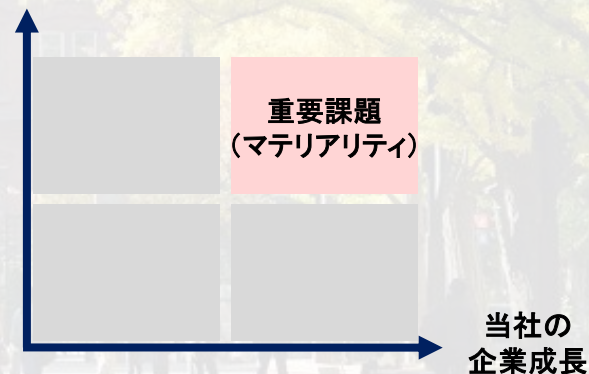


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社イーエスホーム

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



2

ワークライフバランスの充実



目標・KPIs

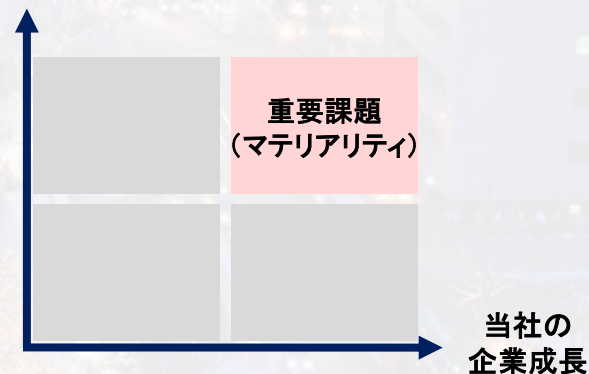
温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社ICHI サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 30 日

株式会社北洋銀行
札幌南支店

1. 基本情報

企 業 名	株式会社ICHI		
代 表 者 名	盛 大地		
所 在 地	北海道札幌市中央区南5条西4丁目TM-29ビル3F		
資 本 金	100 万円		
従 業 員	11 名 (2025 年 3 月現在)		
業 種	飲食業		
事 業 内 容	ラーメン業態 3 店舗経営		
	RAMEN ICHI	札幌市中央区南 6 条西 4-4-1 プラザ 6・4 ビル 2F	
	TSUKEMEN ICHI	札幌市中央区南 5 条西 4 TMビル 2F	
	豚骨拉麺 大河	札幌市中央区南 2 条西 7-1 M's スペース 2nd 1F	
沿 革	2022 年 8 月	盛社長独立開業 1 号店「RAMEN ICHI」オープン	
	2023 年 4 月	株式会社ICHI設立(資本金 1 百万円)	
	2023 年 5 月	2店舗目「TSUKEMEN ICHI」オープン	
	2024 年 11 月	3店舗目「豚骨拉麺 大河」オープン	

2. 経営方針

株式会社ICHI(以下、「当社」)は社員の“挑戦”を積極的に後押しし、挑戦による進化・変化のなかでも関わる全ての人への感謝を忘れることなく、お客様によりよいサービスを提供できるよう日々意識している。また海外展開を果たしたことをきっかけにブランドの目標を“日本”から“世界”へ拡大。以下の方針を掲げながら、持続可能な社会の実現に向けて事業活動を行っている。

VISION

世界を代表する外食企業を創る。

MISSION

目の前の一杯から業界、社会そして世界を変えていく。

一杯のラーメンに、想いと技術を宿す。

変えてはいけない“芯”を守りながら、ICHI らしく進化を続けていく。

その姿勢が、業界の基準を塗り替え、波紋を広げていく。

挑戦する背中が社会に新しい風を生み出し、

やがて、ラーメンが世界に誇れる“文化”となる。

VALUE

1. 挑戦者を応援し、自らも挑戦者である

挑戦は、誰か一人のものじゃない。仲間の一步に拍手を送り、自分も一步を踏み出す。

そんな挑戦の連鎖が、若手に夢を描く勇気を与え、挑戦する力を育んでいく。

そして何より、挑戦を“楽しむ姿”そのものが、世界を変える原動力になる。

2. ラーメン道徳を大切にする

一杯の裏には、数えきれない人の手と想いがある。

仲間、生産者、そしてお客様——すべての関係者に愛と誠意を。

その姿勢や立ち振る舞いが、信頼と技術を育み、人の心を動かす。

3. かつこよさは、責任と姿勢から生まれる

「自分が変わればまわりも変わる。」

自責で考え、利他的であろうとするその姿勢が周囲に影響を与え、仲間を巻き込み、やがて文化を育てていく。

そして、見た目や言葉遣い、佇まいに至るまで、“いけてる”ことにこだわり抜く。

3. 事業概要

当社は札幌市中央区に本社を置き、ラーメン店を複数店舗展開する企業。市内 3 店舗のほか、2025 年中に市内でさらに1店舗と初の海外店舗となる「ICHI MEX」をFC店舗としてオープン予定。今後は本州への出店や全国的なFC展開に向けて準備を進めている。

すすきので営業する「RAMEN ICHI」と「TSUKEMEN ICHI」は立ち食いスタイルのラーメン店となっており、飲み終わりのお客様が“メラーメン”として多く利用している。狸小路にオープンした「豚骨拉麺 大河」では「RAMEN ICHI」の店長が月に一度同店で提供していた限定メニューの豚骨ラーメンを看板メニューとして提供。同限定メニューは非常に人気があり、提供日には毎回店舗前に行列ができていた。このように当社ではスタッフによる新しい試みを全社で応援し事業拡大へとつなげている。

・ICHI グループ各店看板メニュー

「RAMEN ICHI」
“夜鳴き中華そば”



「TSUKEMEN ICHI」
“特上昆布水つけ麺”



「豚骨拉麺 大河」
“特上豚骨ラーメン”

出所：株式会社 ICHI 提供資料

当社は「飲食業界の社会的地位を再定義する」という目標を掲げ、チームメンバーである社員とのコミュニケーションを密に行っている。全社会議や日々の会話の中から生まれた新しいアイデアが新店舗の看板メニューや期間限定メニューとなることもある。また、飲食業界は一般的に非正規雇用の従業員が多いなか、当社はスタッフのほとんどを正社員として雇用しており、当社経営陣の“人”を大切にする想いの表れといえる。2025 年 4 月より設立 3 期目を迎え会社が急成長するなか、さらなる社員のエンゲージメント向上を目指し、人事評価制度や有休制度の整備を進めている。

・調理風景



・全社ミーティングの様子



出所：株式会社 ICHI 提供資料

当社はサステナビリティ活動の一環として、フードロスの削減に取り組んでいる。仕入れ先の農家から規格外などの理由で廃棄になってしまうようなものを買取り、限定メニューとして付加価値を付けてお客様に提供することで、国内の上質な食材の消費に貢献している。また当社はInstagram等 SNS での情報発信に力を入れており、以下のように限定メニューの告知を自社で行っている。

・過去の限定メニュー例



出所：株式会社 ICHI 提供資料

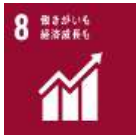
4. サステナビリティ目標

当社の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、当社の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、当社のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	人的資本経営の推進
目 標 ・ K P I	正社員の有給取得率を 70%以上にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

株式会社ICHI

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

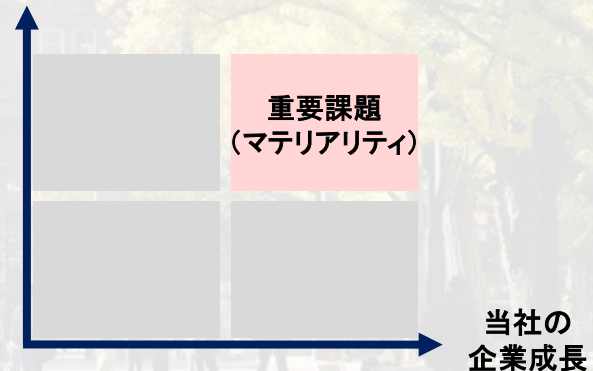


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社 H.F.T サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 12 日

株式会社北洋銀行
江別中央支店

1. 基本情報

企 業 名	株式会社 H.F.T	
代 表 者 名	大場 博勇	
所 在 地	・ 本社 江別市萌えぎ野西 17 番地の 3 ・ 南幌事務所 空知郡南幌町南 10 線西 14 番地	
資 本 金	500 万円	
従 業 員	14 名 (2025 年 8 月現在)	
業 種	一般貨物自動車運送業	
事 業 内 容	・ 小麦・小麦粉運送 ・ 一般雑貨運送	
沿 革	2007 年 2010 年	当社設立 南幌町に事務所を移転

■ 南幌事務所



出所: 株式会社 H.F.T 提供資料

2. 社訓

社名: H(Hokkaido)、F(Flour mill)、T(Transport)

社訓

すべての人・物に感謝し人間力を高める

- ・ すべてに感謝する心を持ち、その心を行動に表すことで、自らの人間力を磨き信頼される人・会社を目指していく。

3. 事業概要

株式会社 H.F.T は、北海道江別市に拠点を構える運送業者であり、長年にわたり江別市から小麦および小麦粉の配送業務を中心に事業を展開している。

江別市は石狩管内でも有数の小麦産地であり、中でも有名な品種が「ハルユタカ」である。高品質である一方で栽培が難しい品種であるが、雪が降る前に播種を行う「初冬まき栽培」が普及し、安定した収量を確保することに成功している。「ハルユタカ」のほかにも、他収量品種の「きたほなみ」やパン用超強力粉に使用される「ゆめちから」、国産小麦と西洋小麦のハーフである「キタノカオリ」といった多くの品種が生産されており、麺やパン、スイーツなど様々な形で消費者へ供給されている。

当社の道内各地への日々の配送量は 200 トン規模にのぼり、製品の品質保持のため万全を期した輸送体制を構築している。

4. 安全への取組

当社では「安全はすべてに優先する」という理念のもと、徹底した安全運転管理体制の構築に努めることで長年の経験と実績に裏打ちされた信頼性の高いサービス提供を継続し、地域社会の「安全」「安心」「安定供給」に貢献している。近年では業務のシステム化による配送の効率化にも注力しており、人的ミスの低減、車両稼働状況の最適化に取り組むとともに、自社の CO₂などの温室効果ガス排出量を測定・管理することで環境負荷の低減にも積極的に取り組んでいる。



← 走行データを記録した車両レポート。当社では、全車両にドライブレコーダーおよびデジタルタコグラフを搭載し、走行データの分析を通じて安全意識の向上と運転行動の改善を図っている。また全ドライバーに対して、定期的な安全講習や実車を用いた運転指導、危険予知トレーニングを実施し、事故の未然防止に取り組んでいる。加えて運行前後の点呼・車両点検の徹底を通じて、法令遵守および整備状況の可視化にも取り組んでいる。

出所：株式会社 H.F.T 提供資料

5. 保有車両

当社では輸送する製品の特性に応じて最適な配送を実現するため、専用設計の特注車両を多数保有しており、現在は小麦専用車両および小麦粉の輸送に特化したバルク車を含むトラックを計 15 台運用している。小麦専用車両は業務効率化の観点から特注架装することで複数の小麦を最大 4 品目同時に輸送可能となっている。バルク車にはエア式排出システムを採用し、人の手を加えないことで粉体の品質と積載効率の向上を実現。また、全車両には GPS 運行管理システムを搭載しており、走行状況や配送進捗をリアルタイムで管理することで、正確かつ効率的な物流サービスの提供を可能としている。こうした業務の効率化は、社内の働き方改革にも直結しており、社員の有給休暇取得率の向上やワークライフバランスの実現にも貢献している。

今後は事業活動による環境負荷の低減にも貢献するため、省エネ型車両や低排出ガス対応車両の導入を順次進めていく予定である。これからも、「効率化」と「環境配慮」の両立を追求しながら持続可能な物流体制の構築を目指していく。

■ 保有車両一覧

車種/ヘッド	所有者	台数	車種/シャーシ	所有者	台数
いすゞ10t ウイング	所有	1台	日本フルハーフ	所有	1台
いすゞ10t ウイング	リース	2台	日本トレクス	所有	1台
UDトラックス10t 平ボデー	所有	1台	トレーラーモービル	所有	1台
いすゞ10t 平ボデー	所有	1台	東邦車両	所有	2台
三菱10t バルク	所有	2台			
いすゞトラクタ	所有	1台			
UDトラックストラクタ	所有	2台			



特注架装をしているトレーラー（左）とトラック（右）。荷台に仕切りが設けられており、トレーラーは最大 4 品目、トラックは最大 3 品目を同時に輸送することができる。



バルク車（左）は製粉後の小麦粉を輸送。エア式排出システムにより人の手を使わず製品輸送が可能。ウイング車（右）は袋詰めされた製品（小麦粉）を輸送する為に活用している。

出所：株式会社 H.F.T 提供資料

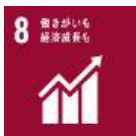
6. サステナビリティ目標

株式会社 H.F.T の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社 H.F.T の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社 H.F.T のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	有給取得率を 70%以上にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

株式会社H. F. T

Sustainability Commitment

2025年9月

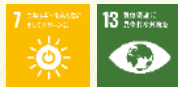
私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

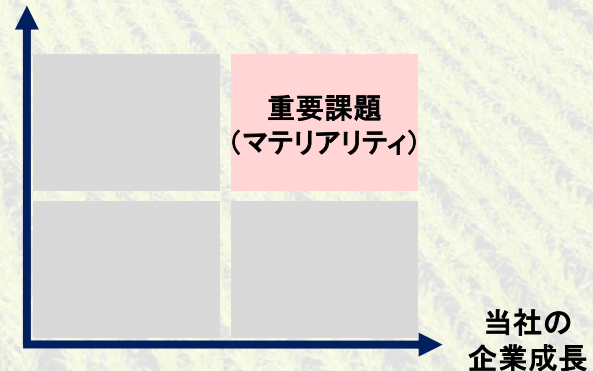


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社 A's works サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 30 日

株式会社北洋銀行
栄町支店

1. 基本情報

企 業 名	株式会社 A's works	
代 表 者 名	朝井 悠太	
所 在 地	本社 北海道札幌市北区新琴似町 555 番地 26	
資 本 金	200 万円	
従 業 員	7 名 (2025 年 4 月現在)	
業 種	建設業	
事 業 内 容	内装工事業 (商業施設新店および改修工事一式)	
沿 革	2017 年 5 月 2024 年 1 年	株式会社 A's works 設立 (資本金 200 万円) 現地に本社移転

2. 経営理念

経営理念

once in a lifetime ～一期一会～



株式会社 A's works は 2017 年の設立以来、お客様「第一」をモットーに多種多様な要望に寄り添った提案を心掛け、ビルテナント・商業施設・飲食店などあらゆる現場にて高い技術力でサービスを提供している。

お客様・従業員との出会いを大切に、安心できる施工・信頼される企業を目指し、希望に満ちた明るい未来の実現に向けて、真心を込めてお客様と共に歩んでいくことを使命としている。

3. 事業概要

株式会社 A's works は札幌市北区に本社を置き、札幌市近郊を営業エリアとし、商業施設等の内装工事を主業としている。

近年札幌市近郊では、新築案件の減少がみられる一方で、駅近の利便性を活かした「日常使い」の施設への需要の高まりなどを背景に、既存ビルテナントのリニューアルや用途転換が増加しており、内装工事のニーズが高まっている。さらに、札幌駅周辺では、大型複合施設の再開発が活発に進んでおり、商業施設のリニューアル需要が旺盛である。当社はこれらのニーズにこたえるべく、多くの現場を手掛けており、地域の発展に貢献している。

ビルや商業施設をリニューアルするプロジェクトは、集客力維持、施設の再活性化が重要視されることから、より高度なデザイン性・ブランディングが求められ、施工難易度は高くなる。株式会社 A's works は若手従業員をはじめとした柔軟な発想で、北海道の木材などを活用した新しいデザインや、省エネ・環境配慮を意識した内装設備、観光客にアピールできる「北海道らしさ」を意識したブランディングへの対応力を強みとし、引き合いが強くなっている。その一例として“サステナ木材”の使用が挙げられる。“サステナ木材”とは地産地消による輸送時の CO₂削減、建築廃材の再利用、間伐材の有効活用等、環境と持続可能性に配慮して生産・利用される木材のことを指す。株式会社 A's works は“サステナ木材”の使用により、脱炭素社会への貢献や地域経済の活性化につなげ、環境に優しい空間を創出している。また、産業廃棄物の分別、環境配慮型車両の使用等、持続可能な社会の実現に貢献する取り組みを積極的に行っているほか、今後の取り組みとして「SDGs 達成への貢献」という要素も取り入れた事業計画の策定も予定している。

株式会社 A's works は、経営理念である「once in a lifetime ～一期一会～」によって目指す、「安心できる施工・信頼される企業」の実現には、従業員の働きやすさが大切であると考え、勤怠管理の IT 化・年間休日の増加により、生産性の向上・労働時間の短縮化を実現している。また、材料費高騰の環境下であっても適切なコスト管理により従業員への還元を進め、物価上昇率を上回る賃金上昇を目指すことで従業員のエンゲージメントを向上させ、企業価値の最大化を図っている。

■ 施工事例

・札幌市商業施設内飲食店



・札幌市商業施設内香水ブランド店



・北広島市内ホテル



・札幌市ビル内飲食店



出所：株式会社 A's works 提供資料

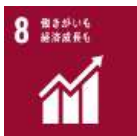
4. サステナビリティ目標

株式会社 A's works の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社 A's works の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社 A's works のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	人的資本経営の推進
目 標 ・ K P I	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
関連する SDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

株式会社A's works

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

人的資本経営の推進

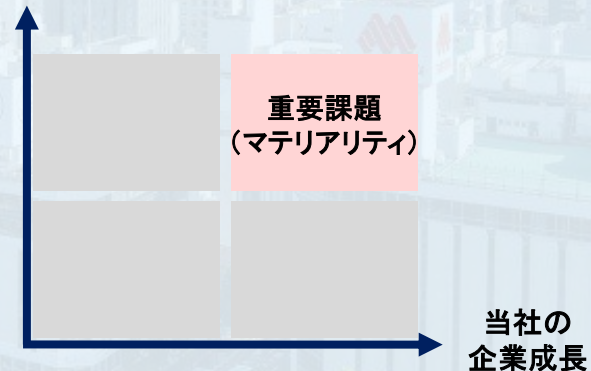


消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



大元水産株式会社

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

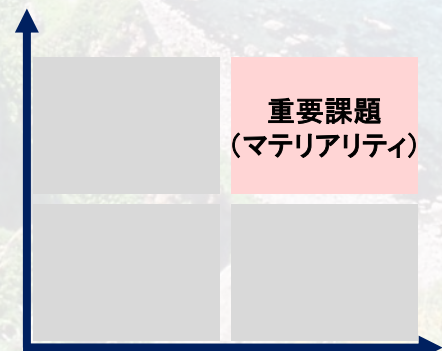


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



当社の
企業成長

株式会社菅野塗装

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

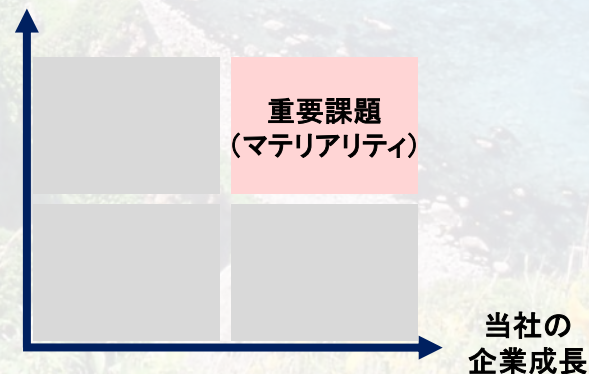


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社 GUILD CARE サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 30 日

株式会社北洋銀行
白石中央支店

1. 基本情報

企業名	株式会社 GUILD CARE	
代表者名	馬場 竜介	
所在地	札幌市白石区平和通 6 丁目南 8-18	
資本金	10 万円	
従業員	単独 16 名 グループ全体 85 名 (2025 年 9 月現在)	
業種	社会福祉業	
事業内容	グループホーム(共同生活援助)	
沿革	2018 年	株式会社ギルドケア 設立(資本金 10 万円)
	2020 年	馬場竜介氏が代表取締役就任
	2023 年	株式会社 GUILD CARE へ社名変更、事務所移転(札幌市白石区平和通 6 丁目 8-18)
	2024 年	札幌刑務支所社会復帰支援コーディネート業務の開始
	2025 年	道内で初めて児童相談所より指導委託を受けた(2025/8 時点)

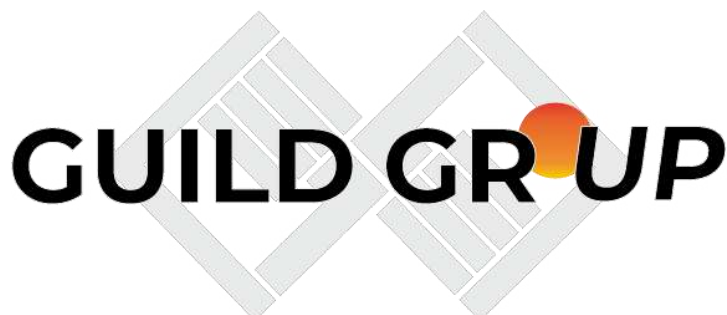
2. 経営理念

経営理念

私たちの住む社会の改善に向けて『一意専心』で活動し、持続可能な社会の実現に貢献する

ギルドグループ(以下、当グループ)は中核企業を株式会社 GUILD GROUP とし、当社を含めた 7 社で構成されている。グループ一丸となって高齢ホームレス・触法障害者・医療福祉に繋がることができない障害者・派遣切りにあった若者や生活に困窮している親子など、社会的支援を必要としている人々をサポートしている。

「困った人の最後の砦になる」、「地域・社会・環境との共生」を当グループの重要課題として掲げ、社会問題を一歩ずつ、着実に解決に導いていくことを使命としている。



3. 事業概要

株式会社 GUILD CARE は札幌市内全域で運営しているグループホーム 18 施設(2025 年 9 月現在)にて障害者、刑務所出所者等の共同生活を必要とする方へ生活サポートを行っている。国や市町村での対応が難しい社会的困窮者への支援を当社で行い、グループ一丸で衣食住の提供、社会復帰を望む方への就労支援を一貫して行っている。以下は当グループのバリューチェーンである。



■ グループホーム入居者との共同清掃及び就労支援事業(ギルドファーム)の様子



出所：株式会社 GUILD GROUP 提供資料

様々な事情をもつグループホーム入居者の方々へ日々寄り添いながら、一步一步、着実な歩みを得られるよう支援を行っている。また、集団での作業などの就労支援を通じて入居者の社会復帰を促している。

■ 毎月の炊出しの様子



出所：株式会社 GUILD GROUP 提供資料

衣食住の支援の一環として毎月の炊出しを実施。

2020 年より取り組み、継続した炊出しは当グループの理想であり経営ビジョンでもある【「今日、寝るところがない

人」、「今日、食べることができない人」、「今日、困り果てている人」それぞれに対し『必要な人へ必要な解決方法』を提案していく】の根幹となっている。

■ 児童養護施設での夏祭運営及び全国精神保健福祉大会(福岡開催)でのプレゼンテーションの様子



出所：株式会社 GUILD GROUP 提供資料

児童養護施設にて夏祭りの企画・運営を行っている様子。「事情にかかわらず全ての子供たちは幸せになる権利があり、その権利を護っていくことが社会の使命」と捉えている当グループでは、毎年複数回にわたってこのようなイベントの企画・運営をボランティアとして行っている。

また、近年では当グループでのノウハウの蓄積を活用し、精神保健福祉士の資質向上や精神障害者のよりよい生活の実現、社会復帰に向けた調査結果の発表や提言を行っている。

■ SOCIAL RECITAL(福祉と社会を繋ぐ講演活動)の様子



出所：株式会社 GUILD GROUP 提供資料

2024年9月より当グループ主催で「福祉と社会を繋ぐこと」を目的とし、日頃社会福祉に関わる方々を参加対象とした講演活動を開始。2025年9月現在で計5回開催しており、これまでに社会的困窮の一要因として依存症がある側面に焦点を当て、「身近な問題として依存症を捉えてほしい、安心して聞ける場を提供したい」との思いから「薬物依存」、「アルコール依存」をテーマとした講演を開催した。その他、生活に困窮する方々を対象とした「居住支援への理解を深める」、「刑事司法ソーシャルワーク(触法障害者に対する社会側の理解を深める・犯行に及んだ真因、社会的サポートの充実により再犯を防止できる)」などのテーマでも講演を行っており相談機関の利用促進や社会復帰支援の重要性について発信している。この取組はこれからも継続していく。

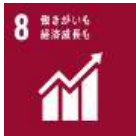
4. サステナビリティ目標

株式会社 GUILD CARE の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社 GUILD CARE の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社 GUILD CARE のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	人的資本経営の推進
目 標 ・ K P I	① 役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。 ② 消費者物価指数上回る賃金上昇を継続して実施する。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

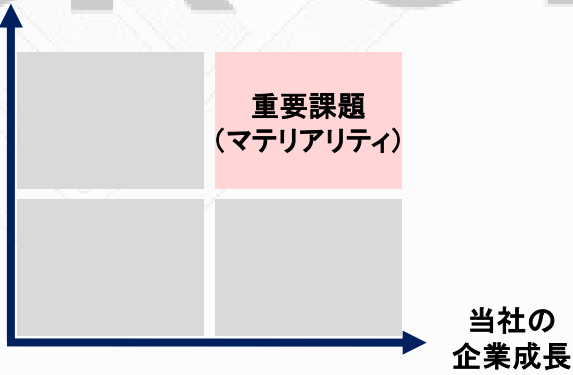
目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	 	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進		役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。
3	人的資本経営の推進	 	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



合同会社KOSKee

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

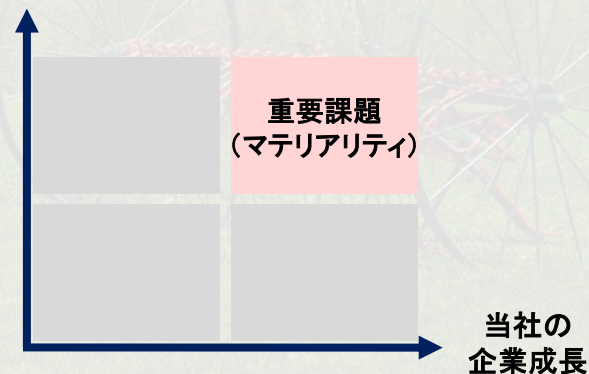
目標・KPIs

- | 重要課題 (マテリアリティ) | 目標・KPIs |
|--|---------------------------|
| 1 脱炭素社会実現への貢献
  | 温室効果ガス排出量の可視化を実施する。 |
| 2 ワークライフバランスの充実
  | 正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。 |

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社JUGAAD サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 30 日

株式会社北洋銀行
北広島中央支店

1. 基本情報

企 業 名	株式会社JUGAAD	
代 表 者 名	成田 一博	
所 在 地	- 本社 札幌市清田区清田 7 条 4 丁目 3-29 - 北広島工場 北広島市島松 230-18	
資 本 金	500 万円	
従 業 員	3 名 (2025 年 7 月現在)	
業 種	産業用機械修理販売業	
事 業 内 容	- 建設機械、電動工具、その他各種機械の修理サービス - トンネルゲート、シートシャッター製造事業	
沿 革	2022 年 2025 年	当社設立(資本金 2 百万) 資本金 5 百万へ増資

2. 経営理念

経営理念

お客様と社員が物心ともに
人生の豊さを感じ取れる環境を目指す。

株式会社JUGAADは、経営理念の実現に向け、確かな技術と迅速な対応を常に心がけ、お客さまのニーズに応じた最良のサービスを提供している。これらの行動の積み重ねが、社会貢献に繋がり、お客さまから選ばれる企業となる重要な行動指針と捉えている。

そして、この事業活動を通じ、社員も物心ともに人生の豊かさを実感できる企業であり続けることを使命としている。

3. 事業概要

株式会社JUGAADは札幌市清田区に本社を置く企業。札幌市清田区のほか、北広島市にも営業所を構え、建設機械をはじめとした各種産業用機械の修理販売・レンタル事業を営んでいる。機械の修理に関しては電動工具から重ダンプ等、大小様々な機械修理が可能であり、幅広いニーズを捉えることが可能となっている。

2023 年には新事業であるトンネルゲート製造事業を開始した。トンネルゲートはトンネル工事現場において、防音、防湿、防熱、防水、防埃の観点からトンネル入り口に設置するドアのようなもの。従来、トンネルの出入り口を閉鎖するトンネルゲートは「バルーンシャッター式」が主流で、ゲート全体を膨らませる送風機が常時必要となり、多くの電力を消費することや、シャッターの開閉作業を人力で行う必要があるという難点があった。当社が扱うトンネルゲート「SUN'S GATE(サンズゲート)」は、トンネルのコンクリート面にゲートを圧着させる際にのみ電力を使用し、シャッターの開閉はセンサー感知により自動開閉できる仕組みを採用している。そのため、従来5分程度要していた開閉作業を、10秒程度に短縮し、送風機の常時稼働が不要となることで大幅な省エネルギー化を実現している。「SUN'S GATE」はエネルギー効率と生産性の向上を同時に実現し、持続可能な社会インフラの整備に貢献するトンネルゲートといえる。

■ 重ダンプ修理の様子



■ トンネルゲート「SUN'S GATE」



出所：株式会社JUGAAD 提供資料

株式会社JUGAADは経営理念にも掲げているように、お客さまと同じように当社で働く従業員も物心ともに人生の豊さを感じ取れるよう、業務上の充実はもちろん、プライベートも充実できるように会社全体で有給を取得しやすい環境を整備している。具体的には有給取得のルールや取得日数を可視化することで従業員へ周知している。さらに、繁忙期には関連会社との連携により業務を平準化させる仕組み作りを行っている。

■ 社員の業務外の様子「左:BBQ、右:野球」



出所：株式会社JUGAAD 提供資料

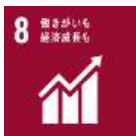
4. サステナビリティ目標

株式会社JUGAADの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社JUGAADの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社JUGAADのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガスの可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	有給休暇取得率を 70%以上にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

株式会社JUGAAD

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

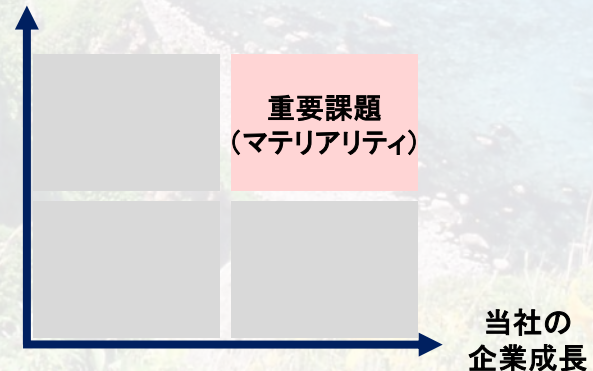


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社白石ゴム製作所

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



2

ワークライフバランスの充実



目標・KPIs

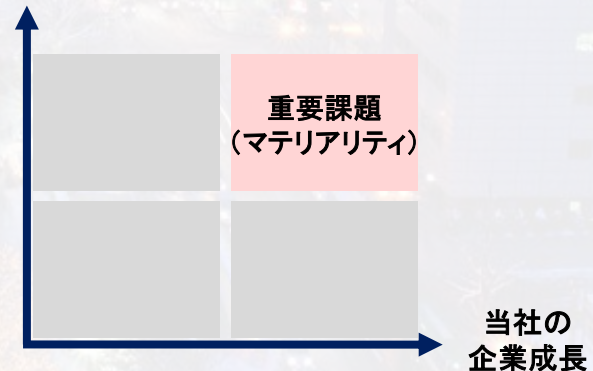
温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社 Sin サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 30 日

株式会社北洋銀行
札幌南支店

1. 基本情報

企 業 名	株式会社 Sin	
代 表 者 名	山口 森	
所 在 地	北海道札幌市白石区平和通 11 丁目北 2 番 27 号	
資 本 金	10 万円	
従 業 員	5 名 (2025 年 9 月現在)	
業 種	塗装工事業	
事 業 内 容	- 建築塗装工事の施工 - 管工事、鋼構造物工事	
沿 革	2014 年 4 月 2015 年 8 月 2023 年 3 月	代表者が個人創業 法人成により株式会社 Sin 設立 本社移転

2. 経営方針

経営方針

1. お客様を笑顔に

塗装を通して、お客様が笑顔になる仕事をする。

2. 安全第一

従業員の安全があつてこそ、質の高いサービスの提供が可能となる。

共に働く関連企業やエンドユーザーの安全を守る。

3. 慌てず、急がず、丁寧に

お客様の笑顔、従業員の安全のために丁寧な仕事を心がける。

株式会社 Sin(以下、「当社」)は 2015 年の設立以来「塗装で笑顔に」をモットーに、スピード感を持ったソリューションを提供している。上記経営方針を掲げ、元請企業や物件所有者の「笑顔」のため、従業員の安全を第一に丁寧な仕事を心がけている。

多様なニーズに応え続けてきた実績をもつ当社は、物件のリノベーションとともに手掛ける地域の施工業者から高い評価を受けており、元請企業のリピート率は非常に高い。設立 10 年という節目を迎え、今後は共に仕事をする仲間を増やしながら規模を拡大していき、さらに多くのお客様に価値を提供できる体制を整えていく。

3. 事業概要

当社は札幌市白石区に本社を置く塗装工事業者である。2015 年の設立以来、確かな施工実績をもとに多くのお客様にソリューションを提供し、事業規模を拡大し続けている。主な事業内容として、住宅・マンション・工場・道路付帯設備(高速道路 IC 等)など、ありとあらゆる建築物の壁面、屋根の塗装工事を行っている。当社の特徴は、「施工技術の高さ」「クレームの少なさ」「期待を超えるサービス提供」などにあり、受注先からのリピート率は非常に高い。

当社では、塗装に使用するペンキの調合において、シンナーや硬化剤の分量を、毎回秤を使い1グラム単位で調整している。塗装する場所によって最適な分量を設定することで、ペンキの質を最大限まで高め施工後の耐久性を高めている。さらに、職人の技術と相まって塗りむらのない美しい仕上がりを実現し、お客様の満足度向上につながっている。

■ 施工事例（上塗り作業の様子）

- ・ 塗装作業中



- ・ 完成後



出所：株式会社 Sin 提供資料

また、元請企業からの依頼事項に対し忠実に再現することはもちろん、物件の付帯設備など全体のデザイン性等を考慮し、追加の塗装の希望はないか確認するようにしている。「やるべきことをやる」だけではなく、「どうすればお客様にとって一番良い完成形となるか」を現場従業員一人一人が考え、先を見据えた提案を行うことで、スピーディーかつより良いソリューションの提供を実現している。

当社は現在も SDGs を意識した取り組みを進めている。具体的には、資材置き場に従業員が不在となるときはブレーカーを落とし、現場へはできる限り乗り合いで向かうなど、温室効果ガスの排出量を抑制する取り組みを行っている。また、本ローンをきっかけに温室効果ガス排出量の測定ツールを導入し、事業拡大フェーズにおいても中長期的に持続可能な成長戦略を策定していく方針にある。そして、具体的な脱炭素経営のアクションとして、本社の屋上に太陽光発電設備の導入を検討するなど、時代に合わせた取り組みへの感度を高めている。

人的資本経営の推進として、昨今の物価上昇を考慮し、従業員の定例的な賃上げにも積極的である。従業員の安定した生活なくして、事業の存続や企業の成長は成し得ないという考えのもと、従業員への還元を常に意識し、働きやすい環境づくりを行っている。

このように当社は、元請企業や物件の所有者などといったお客様、当社の従業員、地域社会のそれぞれに対して貢献できる会社を目指し様々な取り組みを行っている。

今後さらに SDGs の取り組みを加速させ、持続可能な社会を作る一員としての役割を果たしていく。

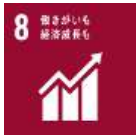
4. サステナビリティ目標

当社の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、当社の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、当社のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	人的資本経営の推進
目 標 ・ K P I	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

株式会社Sin

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

人的資本経営の推進

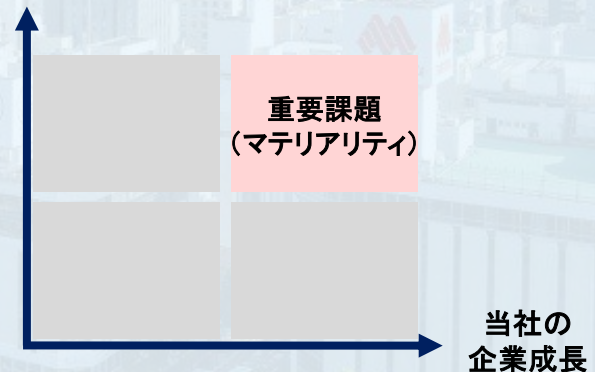


消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社Second Grow

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題（マテリアリティ）

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

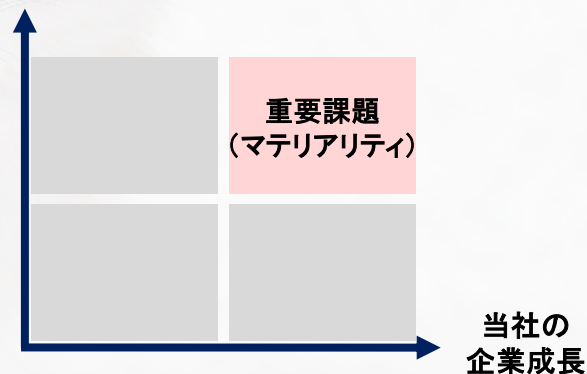


正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社外崎工作所

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

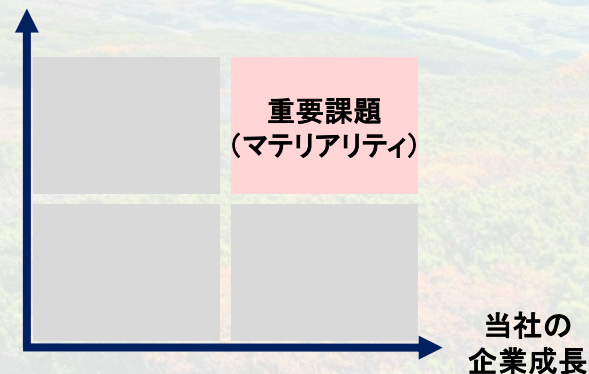


正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社大鐵

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



2

ワークライフバランスの充実



目標・KPIs

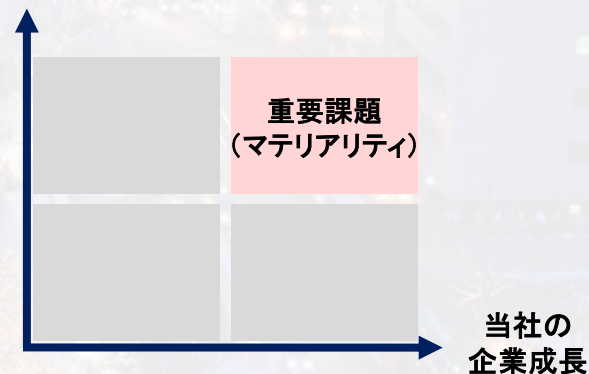
温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



有限会社耐塗建装

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

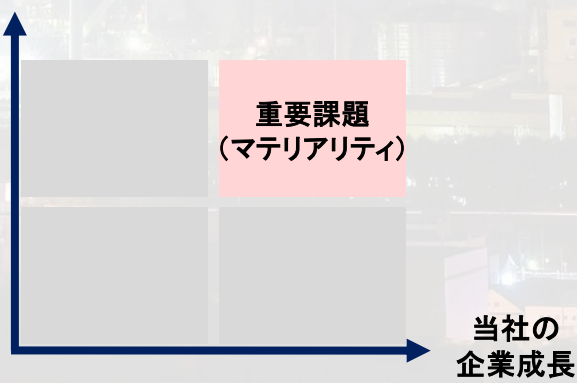
目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	 	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	人的資本経営の推進		役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社ダイヤ

Sustainability Commitment

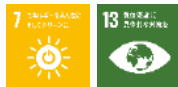
2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

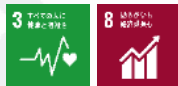
目標・KPIs

1 脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2 ワークライフバランスの充実

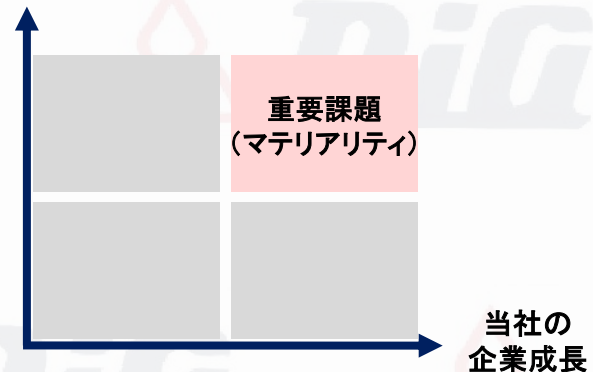


育児休暇取得率を、男性で64%以上、女性90%以上に
する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

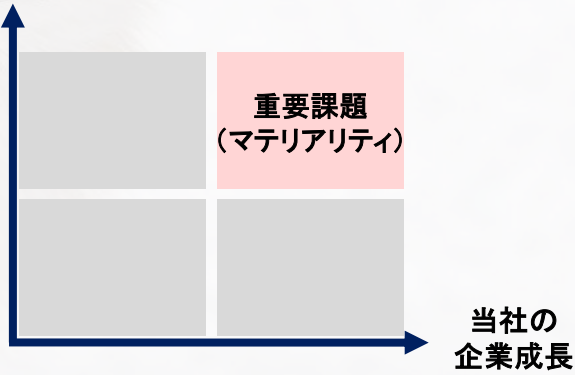
目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	 	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	 	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



竹田電気株式会社 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 30 日

株式会社北洋銀行
帯広中央支店

1. 基本情報

企 業 名	竹田電気株式会社	
代 表 者 名	竹田 悦郎	
所 在 地	北海道十勝郡浦幌町宝町17	
資 本 金	1,000 万円	
従 業 員	19 名	
業 種	電気工事業	
事 業 内 容	・内線工事: 民間の建物内部における電気配線、照明、コンセントなどの設置工事 ・外線工事: 電柱の設置や河川を跨ぐ配線工事等、送配電の基盤となる工事	
沿 革	1937 年 1951 年 1958 年 1976 年 1989 年	個人にて自転車販売業として創業 法人成により「有限会社 竹田電気商会」設立 電気工事請負業を開始 株式会社へ変更「竹田電気 株式会社」設立 竹田悦郎氏(現任)が代表取締役に就任

2. 社訓

社訓

- ・常に社会的責任に徹し、感謝の心で行動すべし
- ・常に熱意をもって会社の発展に努力すべし
- ・常に和協の精神で一致団結すべし

竹田電気が重視しているのは、地域に根ざした事業運営である。長く商売を続けられるのは「地域の支えがあつてこそ」との思いから、顧客への感謝と地域貢献を第一に掲げている。

現代社会において、電気は生活・産業の根幹を成すライフラインであり、災害時に供給が止まれば人々の暮らしは大きな支障を受ける。同社は「ライフラインを担う責任」を強く意識し、地域に安心・安全を提供する企業を目指している。

3. 事業概要

竹田電気は十勝浦幌町に拠点を構える電気工事業者である。受注は公共工事と民間工事がほぼ半々の割合であり、公共と民間を問わず多様なニーズにバランスよく対応していることが強みとなっている。また、当社は浦幌、池田、豊頃 の 3 町内の電気のトラブルに対し 24 時間 365 日対応する「ほくでんサービス」の看板を掲げる同 3 町内唯一の事業者でもある。その強みを生かし、Jリード(豊頃町)やランドハート(浦幌町)といった酪農法人が有するメガファーム内の照明ほか搾乳設備や大型扇風機といった専門設備や、日立建機浦幌試験場といった年中稼働の必要な設備の保守点検を受託している。電気工事という社会インフラを担うと同時に、危険と隣り合わせの現場でもあることから、同社はこの重責を自覚し、地域・顧客・従業員の三方に貢献する持続可能な組織運営を実践している。

・社屋



・高所作業車



出所：竹田電気 提供資料

・安全・確実な施工

当社は上記設備工事のほか、電柱設置や電線工事も手掛ける。当該工事は感電・高所作業などリスクも多い。経産省発表の令和 5 年度電気保安統計によると、電気工事現場における事故件数は約 1.5 万件、そのうち感電による死亡事故件数は 14 件＝毎月 1 件ペースと高リスクであり、安全対策は同社の根幹に関わるテーマとも言える。その認識のもと、当社は徹底した安全対策に取り組んでいる。毎週行われる朝礼で社長自ら安全に関する訓話を行うことで、全社員の意識醸成実施を図っているほか、ベテラン社員と若手社員をペアにして現場に投入する仕組みを徹底することで技術と安全知識を効率的に伝承している。日常的に安全文化を組織に根付かせることが、労働災害の防止と信頼ある施工品質を支えている。

・人材を大切に経営姿勢

当社は「従業員がいるからこそ会社が成り立つ」という考えのもとに、地域、業界平均と比較して高い給与水準の維持や、完全週休 2 日制の導入、従業員の病気・怪我に備えた保険制度の充実、資格取得サポート費用の全額負担に取り組むことで、従業員が定着する職場づくりを行っている。未経験・異業種からの転職者定着率が非常に高いことが特徴であり、ベテランと若手のチーム編成による効率的な OJT 等の手厚い教育体制と安心できる職場環境が従業員の定着につながっている。また、従業員の意見を大切にしたいとの思いから、社長が参加しない従業員のための会議を週 1 回開催。ここでは、同社が末永く発展するための施策を従業員主体で考える機会を設けており、現場からの意見が経営に反映される仕組みとなっている。透明性と多様な意見を取り込むガバナンスを確立することで社員の主体性が高まり、組織としての一体感が醸成されている。

・地域共生

竹田電気は事業活動のみならず、地域社会の一員としてともに歩む存在であることを意識し、地域貢献活動を積極的に展開している。冬季には電気工事業者としての専門性を活かし、町内広場でのイルミネーションを実施。地域住民や観光客に憩いの場を提供している。春には町内 60 か所以上の花壇整備に取り組み、町全体の景観向上に寄与。その他町内で実施されるイベントや町づくり活動にも自発的に関与している。地域貢献により地域社会との絆を強め、長期的な信頼関係の構築につながっている。

・竹田電気が手掛けたイルミネーション**・花壇整備の様子**

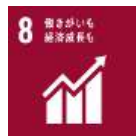
4. サステナビリティ目標

竹田電気の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、竹田電気の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、竹田電気のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	正社員の年間総労働時間を 1,923 時間以下にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

竹田電気株式会社

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

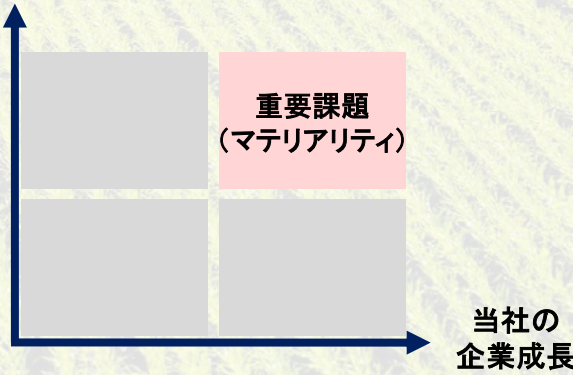
目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	 	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	 	正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社武田プラスチック工業

Sustainability Commitment

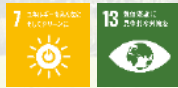
2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

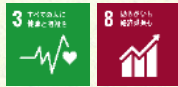
人的資本経営の推進



消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

3

ワークライフバランスの充実

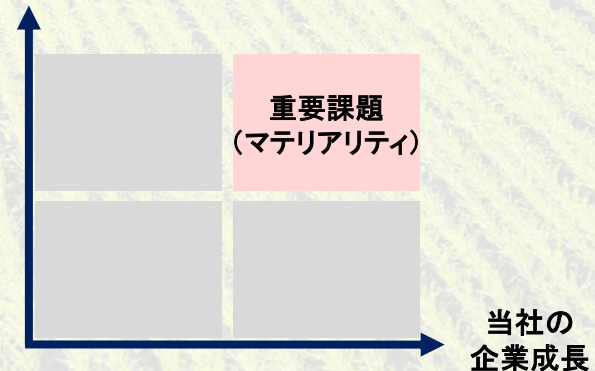


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社だるま食品本舗 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 30 日

株式会社北洋銀行
五稜郭公園支店

1. 基本情報

企 業 名	株式会社だるま食品本舗	
代 表 者 名	工藤 哲也	
所 在 地	本社 北海道函館市西桔梗町 589 番地の 216	
資 本 金	2,500 万円	
従 業 員	28 名 (2025 年 9 月現在)	
業 種	食品製造行	
事 業 内 容	納豆、こんにゃく、カット野菜その他製造並びに卸売販売	
沿 革	1950 年 4 月 1970 年 3 月 2002 年 8 月 2013 年 4 月	小島 誠治氏が個人創業 株式会社だるま食品本舗へ組織変更 小島 節弥氏が代表取締役役に就任 工藤 哲也氏が代表取締役社長に就任 小島 節弥氏が代表取締役役会長に就任

2. 経営方針

だるま食品本舗の経営方針は、「地場の食材をしっかり理解し商品にする」ことを念頭に、以下のとおりである。

「地域に根付く食文化を」という方針が、商品開発・販売・文化発信すべての中心軸になっており、素材の選定にこだわり、生産者との協働、(契約栽培・研究機関との連携)、製造技術の工夫(冷凍納豆等)、函館を中心とした国内外への市場展開といった具体的な事業活動に落とし込まれている。

経営方針

—『地域に根付く食文化を』—

- ・生産者がわかる地元の新鮮な農作物を使うこと。
- ・素材を新鮮なうちに加工し、商品化・販売すること。
- ・地域に根付いた食文化を守り、発展させること。
- ・大量生産・大量消費の時代にあって、「無駄のない生産・消費」を提案すること。
- ・「昔ながらの手法、技、知恵」と、現代の開発技術・経験を調和させていくこと。
- ・未来につながる食文化を創造・提案し実行していく姿勢。

3.事業概要

だるま食品本舗は、納豆・もやし・こんにゃく・野菜・山菜などの食料品を自社工場で製造し、スーパーなどの小売事業者や外食事業者へ販売している。当社の事業は、以下の強み・特徴を有している。

①地元農産原料の調達・加工

道南(北海道南部)の新鮮な農作物を素材として使い、それを自社工場で加工して製品を作る体制を確立している。特に「たまふくら」という極大粒大豆を使った商品開発に力を入れており、育種段階から関わるなど原料選定・品質確保の上流工程にも携わっている。

②商品開発と製造・販売の一貫体制

自社工場で製造、卸売・小売を含む販売までを一貫して行う仕組みを持っている。また、地産地消・地域食文化を意識した商品づくりを掲げており、素材・製法・味などにこだわりを持っている。

③新商品・付加価値商品の開発

「たまふくら納豆」、「ごちそう納豆」など、差別化を図る商品のラインナップがある。また「冷凍納豆」の開発など、賞味期限や流通面での課題に対応する技術開発も進めており、海外販売の道を開拓している。

④販路の拡大

首都圏の物産展・出展などで地元の商品を広く知ってもらう活動をしており、リピーターもついている。また、海外からのニーズにも応じ、冷凍商品のような形での輸出展開も行っており、販売先ポートフォリオを多様化させている。

■たまふくらプロジェクト

北海道南部で栽培される地元の極大粒大豆「たまふくら」を使った商品を開発。単に仕入れるだけでなく、育種・栽培段階から農家・研究機関と協力し、品種改良や品質確保に取り組んでいる。「たまふくら納豆」や「ごちそう納豆」は、甘み・食感・粒の大きさを活かした地域発の特色商品である。



出所: 当社提供資料

■SDGs 取組み

だるま食品本舗では、「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同するとともに、事業活動を通じて SDGs の達成に貢献するため、2023 年 6 月に「SDGs 宣言」を策定している。この宣言では、経営理念に整合する「北海道の良質素材を活用」、「『マメに粘り強く』、健康で多様性のある職場づくり」、「持続可能な循環型社会へ」、「地域に貢献し、愛される企業を目指して」の 4 つのテーマを設け、環境・社会・経済に好影響を与える様々なサステナビリティ活動を行い、持続可能な社会の実現と自社の企業価値向上の両立を目指している。

今後は CO2 削減や再生エネルギー活用、具体数値化とステップアップを進めていくとともに、地元の良質素材を活かした持続可能な食文化を提供していく。



出所: 当社提供資料

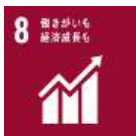
4.サステナビリティ目標

株式会社だるま食品本舗の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、だるま食品本舗の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社だるま食品本舗のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガスの可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	人的資本経営の推進
目 標 ・ K P I	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

株式会社だるま食品本舗

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

人的資本経営の推進

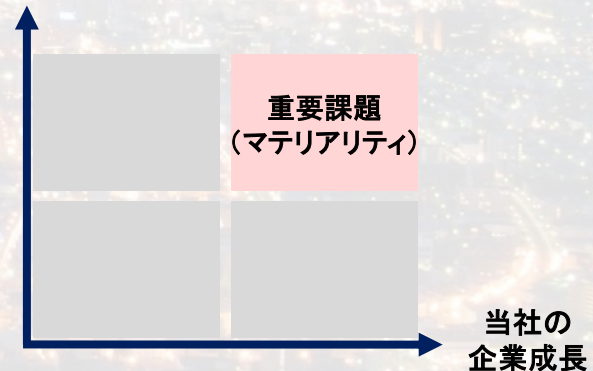


役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



テクノコネクト株式会社 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 8 日

株式会社北洋銀行
北郷支店

1. 基本情報

企 業 名	テクノコネクト株式会社	
所 在 地	北海道札幌市白石区菊水元町1条2丁目3番8号	
ホームページ	https://technoconnect.co.jp	
資 本 金	1,000 万円	
従 業 員	10 名 (2025 年 9 月現在)	
業 種	内装床工事業	
事 業 内 容	・ フローリング工事 ・ 乾式二重床工事 ・ OAフロア工事 ・ フロアデッキ工事 ・ 建築資材販売	
沿 革	2021 年 2023 年 2024 年	テクノコネクト株式会社 設立 (資本金 5 百万円) 資本金 9 百万円に増資 資本金 10 百万円に増資

2. 経営理念

経営理念

謙虚・感謝の心を持ち、関わる全ての人々を物心ともに豊かにし、地域、社会に貢献する

社是

- ・ 社会に役立つ人格を磨きます。
- ・ 熱意・創意工夫をもって取り組みます。
- ・ 一人ひとりが笑顔になれる事を心から願う企業を目指します。

社訓

日々感謝 日々努力 日々成長

テクノコネクトは、内装床工事業を通じて、地域社会に快適な生活空間を提供するとともに、当社を取り巻くステークホルダー(従業員や取引先、顧客、地域社会等)全ての豊かさに貢献することを経営理念に掲げている。

3. 事業概要

テクノコネクトは主に商業ビルやマンション、テナント、施設物件などのフローリング工事、乾式二重床工事、OA工事等の内装床工事を中心に施工を展開している。発注者のオーダー、北海道の気候風土に合わせ、最適な資材の提案から、施工、メンテナンスまで一貫した建築サービスを提供することで、快適な室内環境の実現に貢献している。

当社の強みは、確かな技術力とフットワークにある。定期的な社内研修で培われたスキルを基に、顧客本位を徹底した、きめ細かくスピーディーな施工を行い、創業 5 期目ながらも、これまで数多くの施工実績を積み重ねている。

■ 主な施工事例



▲ フローリング工事



▲ 乾式二重床工事



▲ OAフロア工事



▲ OAフロア工事

出所：テクノコネクト株式会社 提供資料

4. サステナビリティ活動

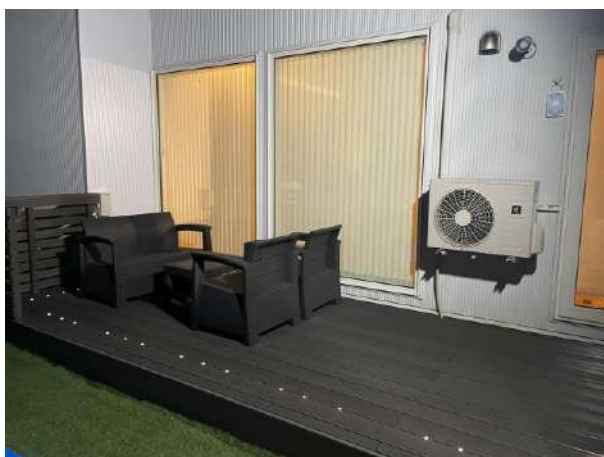
テクノコネクトは、経営理念に掲げる、「謙虚・感謝の心を持ち、関わる全ての人々を物心ともに豊かにし、地域、社会に貢献する」の実現に向けて、環境負荷の低減、働きやすい職場づくり、健全な経営活動を通じて持続可能な社会への貢献に努めている。

(1) 環境面での取組

テクノコネクトは、北海道が進める『SDGs推進ネットワーク』、『北海道ゼロカーボン・チャレンジャー』に登録し、地域に根ざした持続可能な取り組みを展開している。事務所照明の LED 化や社用車のハイブリット化等、日々の事業活動における温室効果ガス排出量の削減に加え、環境に配慮した床工事の施行に取り組んでいる。

例えば、環境負荷の少ないサステナブル素材を使用した施工を推進している。再生材を生産する建材メーカーの北海道唯一の指定工事店として、本来処分されてしまう廃材、廃プラスチックを使用した 100%リサイクル資材を積極的に採用し、資源の有効活用と廃棄物の削減を推進している。

■ 再生材を使用した施工事例



◀ 使用した資材は、製材所から出た廃木材、家庭から回収されたプラスチックごみを使用した 100%リサイクルのデッキ材。耐久性が高く、原料として再利用も可能。

出所：テクノコネクト株式会社 提供資料

(2) 社会面での取組

テクノコネクトは、社是に掲げる「一人ひとりが笑顔になれる事を心から願う企業を目指します。」の実現のためには、事業活動の基底を担う「従業員」が笑顔で安心して働ける職場環境が不可欠であると考えている。すべての従業員が心身ともに豊かな状態で、最大限のパフォーマンスを発揮できる職場づくりに向けて、主に「働きがい」「楽しさ」「安全」の観点から取組を行っている。

働きがいの醸成にむけて、当社は2024年度に全従業員を対象とした基本給10%のベースアップを実施した。これは、2024年度の道内企業の平均ベースアップ率(2.8%)を大幅に上回る水準であり¹、急激な物価上昇から従業員の暮らしを守るだけでなく、従業員の成長を後押しする思いも込めている。

楽しく働ける職場づくりのため、当社は年1回の社員旅行や節目ごとに定期的な懇親会を開催している。カジュアルな場を通じて、役職や世代、部署間の垣根を越えたコミュニケーション機会を創出している。

¹ 北海道財務局. “最近の北海道経済の動向等について”. 2025-4
https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/content/honkyoku/007/20250422_report-on-the-meeting.pdf
(参照 2025-8-28)

安全な職場づくりのため、建設業界向けの労務管理サービス「グリーンサイト」を導入し、法令遵守を徹底し施工現場の労務・安全情報の透明化を推進している。また、業界として「一人親方」型就業形態が多い中、当社は職人の正社員雇用を積極的に推進し、施工現場の安全性向上に努めおり、従業員、協力業者双方にとって安心して働ける現場環境の実現に貢献している。

更に、当社は全従業員の健康維持・増進への取組も積極的に行っている。年 1 回実施している定期健康診断では、一般健診に加え生活習慣予防に関連する付加健診を実施している他、会社負担で加入できる任意保険制度を導入しており、家族も安心できる職場づくりにも取り組んでいる。

テクノコネクトは、創業から現在まで離職者ゼロという実績を継続している。今後も人を大切にする企業であり続けることを最重要と考え、関わるすべての物心を豊かにし、持続可能な社会の実現へ貢献することを目指す。

■ 社員旅行、懇親会の様子



◀ 今年 7 月、長野県へ社員旅行した際の様子、従業員全員で観光を楽しんだ。旅行の中で取引先企業で研修会に参加、従業員の知識・スキル向上の機会にもなった。



◀ 取引先の従業員やそのご家族の方々も交えた懇親会の様子。社内での懇親会だけでなく、日ごろ関わりのある方々も含めて、和気あいあいと楽しめる場を定期的に行っている。

出所：テクノコネクト株式会社 提供資料

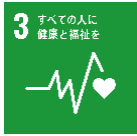
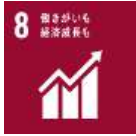
5. サステナビリティ目標

テクノコネクトの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、テクノコネクトの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、テクノコネクトのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	① 人的資本経営の推進 ② ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	① 役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。 ② 有給休暇取得率を 70%以上にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

テクノコネクト株式会社

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

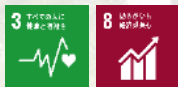
人的資本経営の推進



役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

3

ワークライフバランスの充実

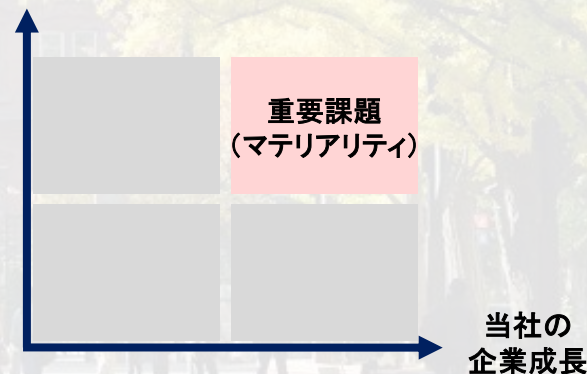


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社デザインオフィスALINA

Sustainability Commitment

2025年10月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

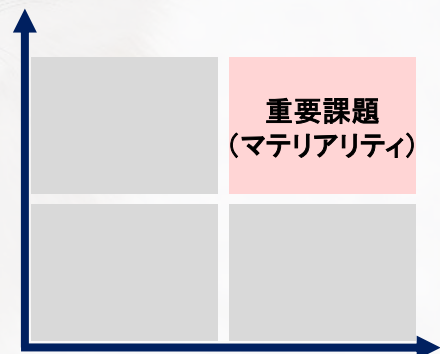


育児休暇取得率を、男性で64%以上、女性90%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



当社の
企業成長

株式会社テムズ

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



2

ワークライフバランスの充実



目標・KPIs

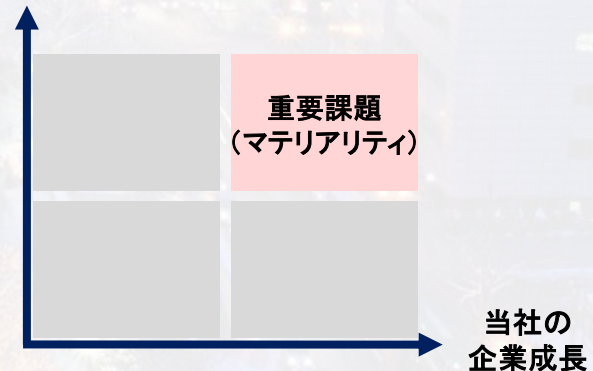
温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社十勝美濃農場 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 26 日

株式会社北洋銀行
帯広中央支店

1. 基本情報

企 業 名	株式会社十勝美濃農場	
代 表 者 名	美濃 志拓	
所 在 地	北海道中川郡池田町川合39番地2	
資 本 金	300 万円	
従 業 員	8 名 (2025 年 9 月現在: 社員 4 名、アルバイト 4 名)	
業 種	農業	
事 業 内 容	- 玉葱、南瓜を中心とした野菜の栽培 - その他栽培品目: キャベツ、ブロッコリー、小豆、醸造用ブドウ、アスパラ	
沿 革	1900 年 1955 年 1965 年 1985 年 1986 年 2008 年 2014 年 2015 年	香川県より美濃宇市氏が入植 次男 美濃勇高氏が農業を継ぐ 美濃孝一氏が分家 畑作を開始 米作へ転換 畑作へ転換 美濃広由氏(現会長)に経営移譲 株式会社 十勝美濃農場設立 小麦作付をやめ、野菜農家へ 美濃志拓氏が代表取締役就任、美濃広由氏が取締役会長就任 玉葱の作付面積が 30ha をこえ、十勝トップクラスの玉葱農家に

2. 経営理念

経営理念

大地に感謝し、歴史を未来へ紡ぐ
人と土を育てる企業に

十勝美濃農場は野菜を育てるのではなく、野菜にとって居心地の良い土を育て、さらに未来の農業者を育てることに尽力している。また、これまでにない革新的な技術開発により、より多収で高品質な農産物を再現性高く栽培する事を可能にしている。革新的な技術の開発には今までの常識にとらわれない柔軟な発想が必要であるという考えに基づき、『農業を楽しむ・未来を創造する力』をキーワードとして、ワクワクを稼ぐ力に変え、新しい農業の姿を提供できる企業を目指している。

3. 事業概要

十勝美濃農場は、十勝池田町で野菜をメインに作付けしている農業法人である。玉葱、南瓜を中心とした栽培を行い、玉葱は十勝トップクラスの作付面積を誇る。十勝川の肥沃な沖積土壌を活かして 20 年前より玉葱の栽培を開始。十勝の豊かな日差しと激しい寒暖差に恵まれ、甘みのある野菜が育つのが特徴で、取扱野菜は日本野菜ソムリエサミットで多数の受賞歴を有している（とろあま玉葱、白ネギ、黄金色のとろけるカボチャ）。肥沃な土壌が化学肥料の削減、輪作が農薬の使用回数の抑制につながり、消費者が安心して食べられる野菜栽培を行っている。

■ 十勝美濃農場で栽培している南瓜、玉葱



また、十勝美濃農場は、池田町内でカフェレストラン「Café TERUI」を運営している。自社農場で収穫した野菜を取り入れたメニューを提供しているほか、収穫シーズンには野菜の直売もっており、新鮮な野菜を地域住民へ販売する地産地消の推進にも取り組んでいる。地域の消費者との交流を大切にし、地元に根差した事業展開を行っている。

■ カフェレストラン「Café TERUI」



▲ カフェ店舗外観



▲ 収穫された玉葱をたっぷり使用したラーメン

出所：十勝美濃農場 提供資料

日本では農業従事者の高齢化が進んでおり、農業従事者全体に占める 65 歳以上の割合は 7 割を超えるとされるが、十勝美濃農場は従業員の平均年齢が 30 代で、さらに半数以上が女性で構成されている。十勝美濃農場では、将来的な独立を前提とした研修生の受け入れも行っており、同農場で農業の基礎を学んだ人材が独立後も業界内で幅広く活躍している。また、大学からのインターン生も積極的に受け入れるなど、次世代の農業従事者を育成し、農業の発展に貢献している。

さらに、同農場は農業の国際的な持続可能性基準である JGAP 認証を取得し、食品安全、労働安全、環境保全といった観点から持続可能な農場経営を推進している。特にスマート農業の導入によって従業員の作業負担軽減と生産性向上を図り、年齢や性別を問わず取り組める農業の仕組みづくりを進めている。具体的な取り組みとして、自動運転トラクターの導入やドローンを活用した種蒔き、農薬散布などの生産性向上に繋がる取り組みを推進し、従業員が心も体も楽に働ける会社を目指している。

■ スマート農機



▲ 玉葱移植機



▲ 玉葱収穫機

従来、大型重機の操縦はハンドル操作が難しく、不安定な農地の上を真っ直ぐ走るには経験と技術が求められていたが、ハンドル自動操縦機能を備えた重機を導入したことで、誰でも安定した直線走行が可能となり、農地の効率的な活用に繋がっている。



▲ トラクター



▲ ドローンでの農薬

出所：十勝美濃農場 提供資料

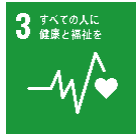
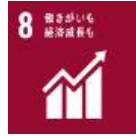
4. サステナビリティ目標

十勝美濃農場の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、十勝美濃農場の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、十勝美濃農場のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	① 人的資本経営の推進 ② ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	① 消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。 ② 正社員の年間総労働時間を 1,923 時間以下にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

株式会社十勝美濃農場

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

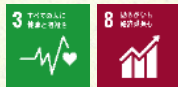
人的資本経営の推進



消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

3

ワークライフバランスの充実

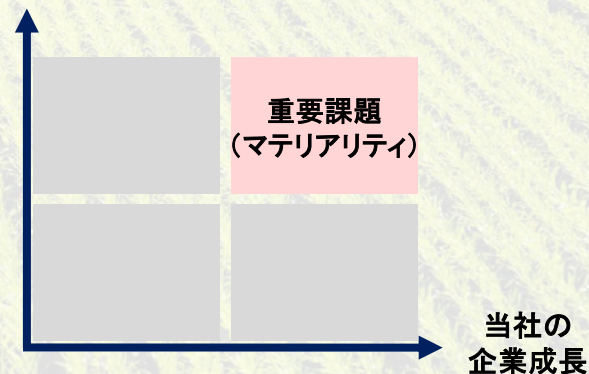


正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社トミナガ建設

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



目標・KPIs

温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

人的資本経営の推進

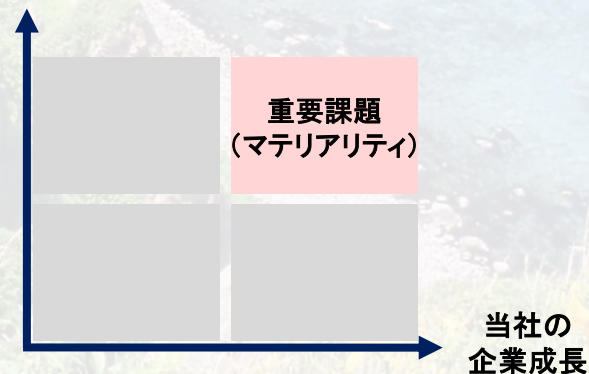


消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



有限会社丹羽工業 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 5 日

株式会社北洋銀行
麻生支店

1. 基本情報

企 業 名	有限会社 丹羽工業	
代 表 者 名	丹羽 和徳	
所 在 地	本社 札幌市東区東雁来 8 条 4 丁目 1 番 10 号	
資 本 金	300 万円	
従 業 員	9 名 (2025 年 9 月現在)	
業 種	建設業	
事 業 内 容	・ 新築/増改築/改修工事 ・ 耐震工事 ・ 店舗工事 ・ 造作建具工事	
沿 革	2005 年 3 月 2014 年 11 月 2015 年 1 月 2022 年 8 月 2025 年 3 月	有限会社丹羽工業 設立 現在の東雁来へ本社移転 建設業許可取得 SDGs 宣言書 発行 SDGs 教育私募債(寄付寄贈型) 発行

2. 経営理念

経営理念

プロのための専門業者として北海道に貢献する会社を目指す。

有限会社丹羽工業は、老若男女が安心して暮らせる街づくりに貢献し、「プロのための専門業者」としてお客様に最適な価値を提供し続けることを使命と考え、上記の経営理念を定めている。

当社は設立以来 20 年以上にわたり、地域社会の多くの企業に支えられ、今日まで歩んできた。そして、内装工事における知識や技術は、従業員一人一人の努力と成長によって培われたものであり、その力こそが当社の最大の財産であると認識している。今後も地域社会への感謝の気持ちを忘れず、北海道に根ざした企業として確かな技術と信頼される組織づくりを継続し、社会から信頼される企業を目指していく。

3. 事業概要

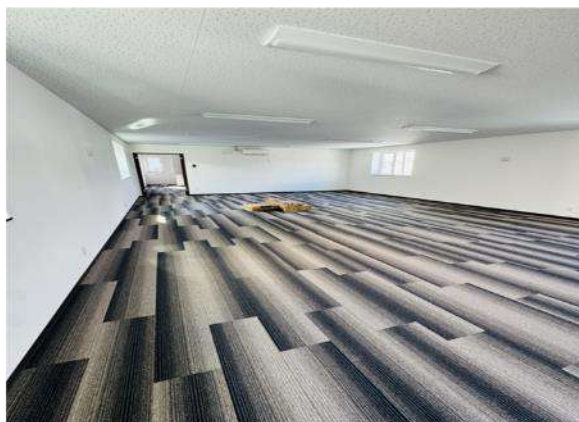
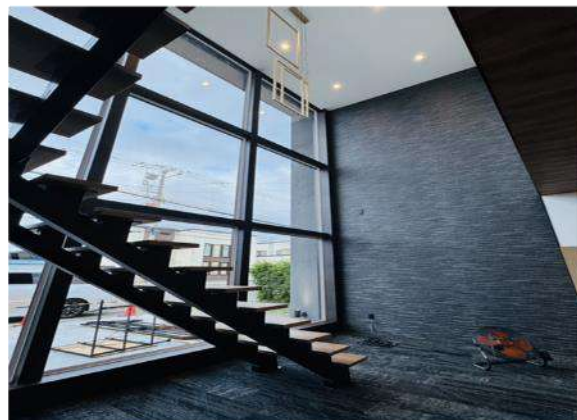
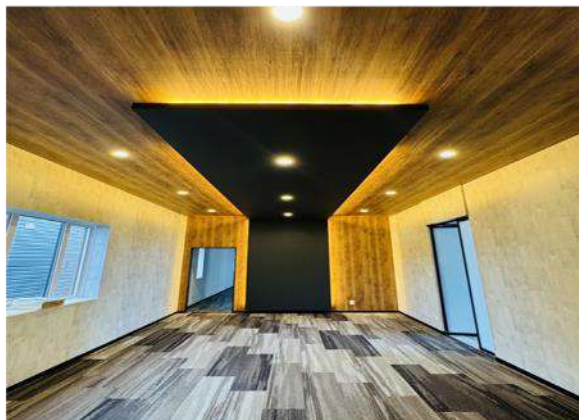
有限会社丹羽工業は、北海道札幌市を拠点に内装仕上げ工事を中心とした建築関連事業を展開している。軽量鉄骨(LGS)による鋼製下地工事や石膏ボード工事を主力とし、新築・増改築・改修、耐震補強、商業施設や店舗の施工、造作建具の製作・設置など幅広く対応してきた。

当社の強みは、豊富な経験と技術力を基盤に、発注者の予算や要望に合わせた最適な施工を実現できる柔軟な対応力にある。

鋼製下地工事では、LGS を使用することでコストパフォーマンスが高く工期も短縮した施工が可能となり、安定した品質を提供している。また、ボード貼り工事においては、耐火・遮音・調湿など機能性に優れた多種多様なボード材を現場環境に応じて使い分け、快適で安全な空間を実現している。さらに、クロス工事では、デザイン性に富んだ壁紙や機能性を持つ素材を幅広く扱い、空間の目的やイメージに最適な仕上がりを提供している。

店舗工事に関しては、飲食店やスーパー、ホームセンターなど規模の大小を問わず、幅広く対応してきた実績を有する。これにより、商業施設に必要とされるデザイン性・機能性・耐久性をバランス良く備えた施工を行うことが可能である。さらに、協力会社との強固なネットワークを活かし、大型工事においても必要な人員を確保できる体制を整えている点も大きな強みである。これらの取り組みにより、有限会社丹羽工業は内装工事の幅広い領域で安定した施工力を発揮し、多くのお客さまから信頼を獲得してきた。今後も培ってきた技術と経験を活かし、地域の発展や快適な生活空間の提供に貢献していく。

■ 施工実績



出所：有限会社丹羽工業 提供資料

有限会社丹羽工業は、持続可能な社会の実現に向けて SDGs への取り組みも積極的に進めている。当社では、SDGs 宣言書を策定し、全社的な行動指針を示すとともに、SDGs 教育私募債(寄付寄贈型)を活用して地域社会への貢献や従業員の働きがい向上を実現している。また、地元とのつながりを大切にしながら、人材育成や地域活動への協力を通じて地域に根ざした企業づくりを推進している。今後は環境配慮型車両の導入をさらに促進し、脱炭素経営に一層力を注ぐことで、環境保全と経営の両立を図り、地域社会とともに持続的な成長を目指していく。



NEWS RELEASE

北洋銀行

2025年3月27日

株式会社北洋銀行

各位

有限会社丹羽工業様

SDGs(教育)私募債(寄付寄贈型)(銀行保証付私募債)を発行

有限会社丹羽工業様(本社:札幌市、社長:丹羽 和徳氏、資本金:300万円)は、2025年3月28日に第2回無担保社債(株式会社北洋銀行保証付および連絡機関投資家限定)「SDGs(教育)私募債(寄付寄贈型)」3,000万円を発行します。年率は5年、受託(財務代理人に就任)・引受についても北洋銀行が行います。本件私募債の調達資金は事業資金に充てる予定です。

同社は2005年設立の内装工事業者です。高い技術力を活かして、マンションや商業施設における調製下地工事や石膏ボード工事を中心に手掛けています。道内各地の再開発や新築・改修工事を通じて、より良い街づくりに貢献しています。

2025年3月には設立20周年を迎え、地域の方々への感謝を伺い、地域活動にも取り組んでいます。貢献活動の一環として本件の趣旨に賛同され、この度の私募債発行に至りました。

「SDGs(教育)私募債(寄付寄贈型)」は、調達基準をクリアした優良企業が発行できる私募債です。当行は、お客さまが私募債をご利用される際、発行金額の0.2%相当額をお客さまが希望する道内の学校等へ寄付寄贈します。本商品をご利用いただくことにより、お客さまは「優良企業」としての社会的評価と、地域貢献に対する取組姿勢を広くアピールすることや、学校等へ支援の気持ちを伝えることができます。

「SDGs(教育)私募債(寄付寄贈型)」は、銀行保証型、保証協会保証型の2種類があり、「SDGs(教育)私募債(寄付寄贈型)(銀行保証型)」は物的担保の代わりに銀行の保証を付けることで、無担保で社債の発行が可能になります。

4

北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs宣言」を公表し、環境・社会的責任の観点からSDGsの推進に取り組んでいます。また、SDGsに関連するプラットフォームには、取組するSDGsのアイコンを掲げています。

【SDGs】に関する情報として掲載された、持続可能な社会を実現するための2030年までの国際目標、17のゴールと169のターゲットが掲載されています。

北洋銀行グループ融資資金:お客さま本位を徹底し、多様な課題の解決に取り組み、北海道の明日をきりひらく

出所:北洋銀行 HP

3/4

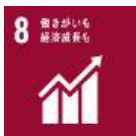
4. サステナビリティ目標

有限会社丹羽工業の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、有限会社丹羽工業の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、有限会社丹羽工業のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの実現
目 標 ・ K P I	有給取得率を 70%以上にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

有限会社丹羽工業

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

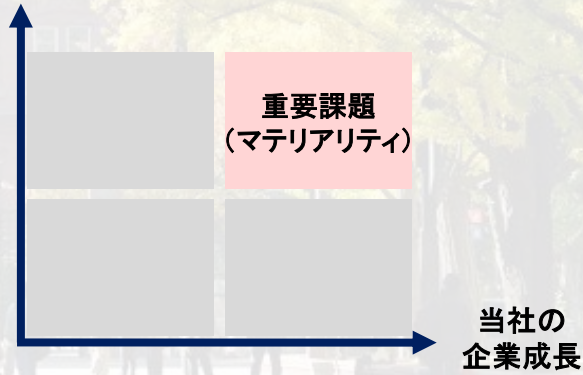
目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	 	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	 	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社 NEXT INNOVATION サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 12 日

株式会社北洋銀行
南郷通支店

1. 基本情報

企 業 名	株式会社 NEXT INNOVATION	
代 表 者 名	代表取締役 栗林 大輔	
所 在 地	- 本社 北海道札幌市中央区南 10 条西 1 丁目 1 番 65 号 11.CONCEPT SPERARE5 階 A 号室 - 大阪支社 大阪府中央区北浜東 6 番 6 号 アクアタワー5 階 - 東京支社 東京都台東区上野 3 丁目 16 番 2 号 天翔オフィス上野末広町 402 号室	
資 本 金	500 万円	
従 業 員	11 名 (2025 年 7 月現在)	
業 種	サービス業	
事 業 内 容	- 有料人材紹介(介護、看護) - 採用コンサルティング	
沿 革	2022 年 2023 年 2024 年 2025 年	当社設立 介護人材に特化した求人サイト「介護ピース」サービス開始 大阪支社 開設 大阪支社 移転 札幌本社 移転 看護人材に特化した求人サイト「看護ピース」サービス開始 東京支社 開設

2. 経営理念

経営理念

『新たな未来を共に創る』

○Mission

HR 領域における世界の総合商社になる

○Vision

常識にとらわれることなく世界の HR 経済を変えるために日々成長を継続しよう

○Value

- ①常に明るい挨拶をしよう ②自分たちの仕事に誇りを持とう
- ③当たり前のことを当たり前以上にやろう ④起こること全てにおいて自責で捉えよう
- ⑤変化を恐れず変化を楽しみ挑戦しよう
- ⑥自己成長を楽しみ、学び続ける姿勢を大切にしよう ⑦責任ある発言・行動をしよう
- ⑧仲間を愛し家族を大切にしよう ⑨常に感謝の気持ちを忘れずに言葉で伝えよう
- ⑩仕事を通じて夢や目的を叶える人生にしよう

3. 事業概要

株式会社 NEXT INNOVATION は札幌市に本社を置く有料人材紹介業者である。札幌市のほか、大阪府と東京都に支社を構え、Mission にも掲げている通り HR 領域における世界の総合商社を目指すべく全国へ拠点を拡大している。

事業内容は介護人材に特化した求人サイト「介護ピース」を中心とした病院・介護施設への人材紹介を主体とし、足元では看護師に特化した求人サイト「看護ピース」を開設。今後は栄養士や保育士分野への拡大も検討するなど、医療・福祉業界のニーズに応えている。

■ 介護職・看護職に特化した求人・転職支援サービス「介護ピース」「看護ピース」



介護職専門



看護職専門

出所：株式会社 NEXT INNOVATION 提供資料

株式会社 NEXT INNOVATION は、Value に掲げる「仲間を愛し家族を大切にしよう」「仕事を通じて夢や目的を叶える人生にしよう」の通り、当社で働く人材を事業運営上の最も重要な財産と位置づけている。この Value の下、社員のエンゲージメントを高める取り組みとして、特に福利厚生の充実に注力している。例として、一日に2回まで15分間息抜きを行える「15リフレッシュ制度」や、自分自身や家族など大切な人に感謝するための休暇として「ファミリーバースデー休暇」を設けている。また、年間・月間 MVP 表彰や複数の部門に分かれた年間表彰制度のほか、スキルに応じたエキスパート手当や個人・チーム単位のインセンティブを設けることで社員のモチベーション向上やチームワークの最大化を図っている。今後も更なるユニークな制度導入を検討しており、福利厚生制度の拡充による社員のエンゲージメント向上を目指している。

当社では、事業を通じた医療・福祉業界の人手不足という社会課題へのアプローチや、社員の働きがい向上の取り組みに加え、環境問題に対する取り組みとして温室効果ガスの可視化や、従業員の SDGs に対する意識醸成を目的としたプロジェクトなどにも取り組んでいく予定である。

■ 社員旅行と休憩中の社員



出所：株式会社 NEXT INNOVATION 提供資料

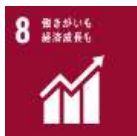
4. サステナビリティ目標

株式会社 NEXT INNOVATION の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社 NEXT INNOVATION の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社 NEXT INNOVATION のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガスの可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	人的資本経営の推進
目 標 ・ K P I	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。
関連する SDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

株式会社NEXT INNOVATION

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題(マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

人的資本経営の推進

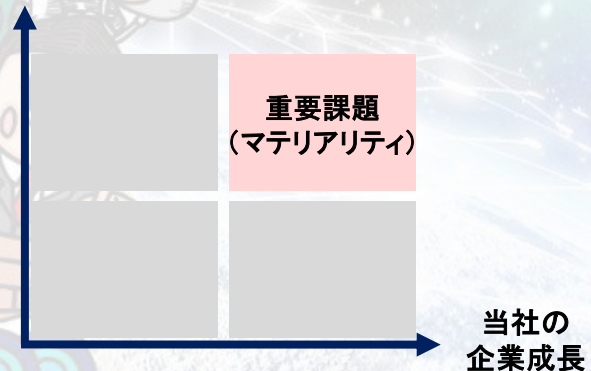


役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



有限会社B. C. S.

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



2

人的資本経営の推進



目標・KPIs

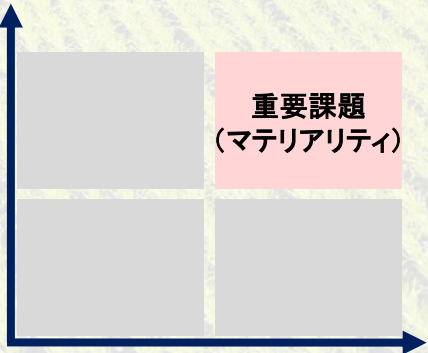
温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



当社の
企業成長

有限会社ヒロセ物流企画

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

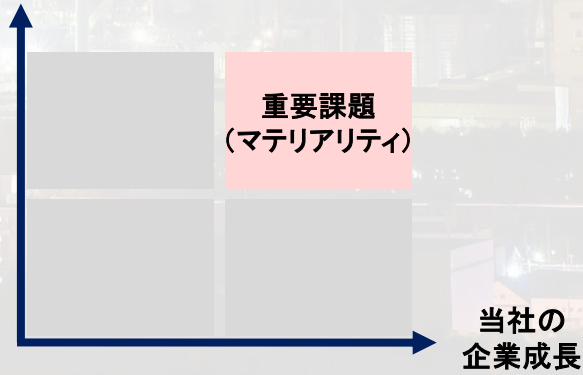
目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	 	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	 	有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



ファスニンググループ サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 5 日

株式会社北洋銀行
栄町支店

1. 基本情報

グループ構成 企業	株式会社ファスニング 株式会社タイムリー	
代表者名	星 英明	
所在地	・本社: 北海道札幌市東区丘珠町 499-1	
資本金	株式会社ファスニング	1,000 万円
	株式会社タイムリー	1,000 万円
従業員	株式会社ファスニング	4 名 (2025 年 6 月現在)
	株式会社タイムリー	2 名 (2025 年 6 月現在)
業種	内装工事業	
事業内容	株式会社ファスニング ・ 下地工事(軽量下地工事、GL工事、ボード工事) ・ リフォーム全般(戸建て住宅、マンション、テナント等のリフォーム工事) 株式会社タイムリー ・ 仕上工事(床工事、クロス工事、カーテン/ブラインド工事)	
沿革	2002 年	ファスニングの屋号にて個人創業
	2011 年	株式会社ファスニング 設立
	2020 年	株式会社タイムリー 事業承継

2. 経営理念

経営理念

すべての人の成長と幸福を支え、共に未来を創る企業であり続ける。

ファスニンググループでは、上記の経営理念を掲げている。ファスニンググループでは従業員とその家族、お客様とその家族、仕入先・外注先とその家族など、当社を取り巻く全てのステークホルダーの幸せをもたらすことを目指している。お客様との豊かな経験を大切に、その一つひとつが信頼となることを信じている。お客様との関係性構築により培われた経験こそが企業の財産であり、未来を創る力であると考え、常に前向きに取り組むという想いが込められている。

3. 事業概要

ファスニンググループは、軽量下地工事・GL工事・ボード工事等の下地工事を行う株式会社ファスニングと、床工事、クロス工事、カーテン/ブラインド工事等の仕上工事を行う株式会社タイムリーの 2 社で構成されている。両社とも内装工事の領域で事業を展開してきたが、2020 年に株式会社タイムリーの事業を承継し、ファスニンググループとして内装工事の事業領域が拡大。この統合により、下地工事から仕上工事まで一貫して対応できる体制が整い、顧客に対してより包括的なサービスを提供することが可能となった。両社の専門性を活かし、内装工事全般において高い技術力と柔軟な対応力を発揮することで、ファスニンググループは内装工事において他社にない競争優位性を持ち、民間工事と公共工事の両方で、数多くの実績を積み重ねている。

■ ファスニンググループによる下地工事の一例



軽量下地工事

厚さ 1mm ほどの鋼材で作られた「軽量鉄骨」を格子状に組み上げ、内装の「骨組み」を作る工事。軽量で加工がしやすく、スピーディーに施工を進めることが出来るほか、耐火性・防湿性にも優れている。



GL工事

軽量下地工事を行わずコンクリート表面に直接石膏ボードを接着剤で貼る工事。木造建築や天井・床には使用できないなど、工法の仕組みから使用できる箇所は限定されるが、特性を理解した上で使用することで、工期の短縮が可能。

出所：ファスニンググループ提供資料

■ 施工事例



出所：ファスニンググループ提供資料

4. サステナビリティ活動

(1) 環境面での活動

ファスニンググループは、脱炭素経営を推進している。当社は札幌に本社を置く内装工事業者であるが、札幌市以外の地域でも多くの工事を手掛けている。現場への移動には車両を利用することが多いことから、脱炭素社会実現に貢献するためにハイブリッド車の導入を進めており、現在営業車両 7 台のうち 2 台をハイブリッド車に切り替えている。今後は会社全体の温室効果ガス排出量の可視化と更なる省エネルギー化を進めることで、コスト削減と環境への配慮を両立し、持続可能なビジネス運営を目指す。

(2) 社会面での活動

ファスニンググループは、働く人材を事業運営上の最も重要な財産と考えている。この考えの下、役職員

の生産性の向上と労働環境の改善によるワークライフバランスの充実に取り組むことで、技術面だけでなく、豊かな人間性を育むことを重視している。例えば、当社では休暇は完全週休 2 日制を導入している。国土交通省の「建設業の働き方改革の推進(令和 5 年 6 月)」によると、週休 2 日制(4 週 8 休)は、建設業全体のわずか 8.6%しか実現できておらず、当社は稀有な存在といえる。また、有給休暇は従業員の希望に応じて積極的に取得をさせているほか、定期昇給やベースアップを積極的に行っている。今後は、有給休暇取得率 70%以上を目指し、更に働きがいのある労働環境を追及していく考えにある。

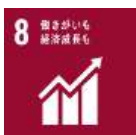
5. サステナビリティ目標

ファスニンググループの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、ファスニンググループの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、ファスニンググループのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	有給休暇取得率 70%以上にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

ファスニンググループ Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

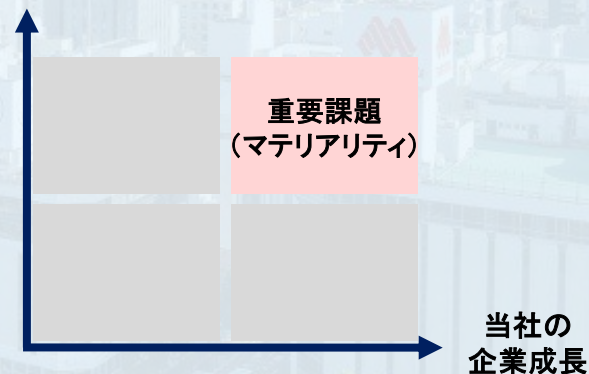


有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社プライドライナー サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 1 日

株式会社北洋銀行
清水支店

1. 基本情報

企 業 名	株式会社プライドライナー	
代 表 者 名	樋口 和人	
所 在 地	- 本社 北海道上川郡清水町南 1 条西 4 丁目 17-1 - 札幌営業所 北海道札幌市白石区中央 1 条 3 丁目 1-33 石野ビル 2 階 - 苫小牧営業所 北海道苫小牧市末広町 3 丁目 6-15 大東末広ビル 2 階南	
資 本 金	650 万円	
従 業 員	31 名 (2025 年 3 月現在)	
業 種	一般貨物運送業	
事 業 内 容	- 冷凍・冷蔵食品運送 - 一般雑貨等運送 - 生乳運送	
沿 革	1989 年 9 月 2003 年 4 月 2014 年 9 月 2020 年 8 月 2023 年 1 月 2023 年 4 月	個人事業主として創業 有限会社プライドライナー設立(資本金 650 万円) 札幌市白石区に営業所開設 グループ会社として大国開発運送株式会社を統合 苫小牧市に営業所開設 株式会社プライドライナーへ商号変更 現在に至る。

■保有車両

	本社	札幌営業所	苫小牧営業所
トラクター	7台	3台	6台
11t ウイングバン		4台	
8t ウイングバン		2台	
4t ウイングバン		2台	
4t 冷凍冷蔵		1台	
1t 車		3台	
冷凍セミトレーラー	14台		6台
ウイングセミトレーラー	1台	1台	
計	22台	16台	12台



出所: プライドライナー 提供資料

2. 経営・事業に対する価値観

当社では、明文化した経営理念やビジョン等は定めてはいない。しかし、経営や事業に対する価値観は社内に深く浸透している。

経営・事業に対する価値観

—『感謝と敬意』—

『“感謝と謙虚”の姿勢を忘れず、支えてくれる全ての方へ“敬意”をもって行動する。』
それは株式会社プライドライナーが事業を進める上で揺るがぬ信条である。
人と人との繋がりがあからこそ事業を続けられる。
「やってもらうことは当たり前ではない」という原点を胸に刻み、常にその本質を見失うことなく、謙虚に、誠実に歩み続ける。

上記がプライドライナーの経営と事業に対する想いであり、当社の経営・事業の底流に存在する。

社名に込められた、自らの仕事に対する『誇り』(プライド)と『責任』の精神を大切にしながら、十勝と日本全国を繋ぐ、地域に根差した物流インフラとして社会への貢献を果たしている。



出所：プライドライナー 提供資料

3. 事業概要

プライドライナーは北海道清水町に本社を置く運送会社である。清水町のほか、札幌市・苫小牧市の営業拠点に加え、芽室町にはグループ会社の大国開発運送を置く。冷凍・冷蔵食品の運送を主軸としながら、日用品等の一般雑貨まで幅広い物流ニーズに対応したサービスを提供している。

現在、運送業界には、慢性的な人手不足や働き方改革関連法によるトラックドライバーの労働環境の改善、さらには環境対応の強化といった様々なテーマが存在する。

当社はそうしたテーマに真正面から取り組み、十勝から全道、そして日本全国を繋ぐ『持続可能な物流体制の構築』を進めていく。

【本社運送車両】



【本社事務所】



出所：プライドライナー 提供資料

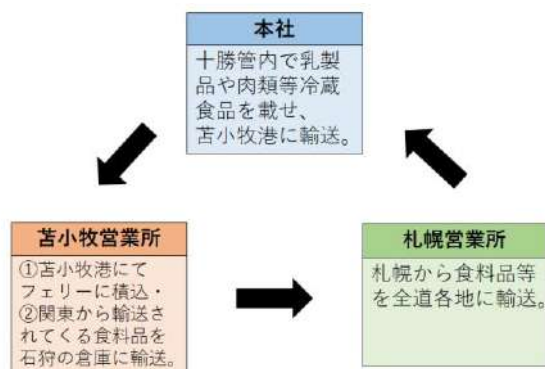
■ 冷凍・冷蔵食品運送事業

肉や乳製品等を始めとする、冷凍・冷蔵食品の輸送は、当社の中核事業の一つである。

当社は十勝管内で集荷した肉類や乳製品等の貨物を苫小牧港まで輸送し、苫小牧港でこれらの貨物を積み替え、フェリーで北海道外へ送り出すと同時に、関東圏からの貨物を札幌圏はじめ全道に輸送している。札幌ではさらに貨物の積み替えを行い、十勝への食料品を輸送する体制を整えている。この一連のサイクルを効率的に回すため本社のほか、札幌市と苫小牧市に営業拠点を構え、北海道内の広域物流ネットワークを確立することで、効率的な運送体制を実現している。これにより積載効率の最大化が図られ、環境負荷の軽減と経済効率性を両立し、持続可能な運送体制の確立にも貢献している。

当社が運ぶ食品は、道内外多くの方々の食卓を支えている。その重みを深く受け止め、仕事に対する『誇り』と『責任』を胸に、地域の食インフラを支える重要な物流機能として、今後も「安心・安全」を第一に考えた物流サービスを提供する。

【食料品等を運送する冷凍車】



出所：プライドライナー 提供資料

■一般雑貨等運送事業

第二の事業の柱として位置付ける一般雑貨等運送事業では、主に日用雑貨や紙製品（段ボール等）をはじめとする一般雑貨等の輸送を行う。

プライドライナーは道南エリアを中心に、グループ会社である大国開発運送は道東エリアを中心に輸送を展開し、両社で北海道全域をカバーしている。

【札幌営業所の運送車両】



【グループ会社である大国開発運送の運送車両】



出所：プライドライナー 提供資料

4. 社内評価制度

運送業では労働環境の改善と安心安全の物流サービスの両立が必要である。当社ではこの両立のために社内制度として以下を定めている。

■安全運転評価制度

当社では、デジタルタコグラフ¹に残る、急発進・急ブレーキ・速度超過・アイドリング時間等、運転データをもとに、安全運転評価を実施している。これらの指標に基づいて、違反回数等を点数化し、点数に応じて安全運転手当を支給する制度を導入している。急発進や急ブレーキの抑制は、車輛事故を未然に防ぐだけでなく、故障リスクや修繕コストの軽減に繋がり、会社にとっても大きなメリットがある。同時に、ドライバー自身にとっても安全運転の意識向上と手当の獲得という双方にメリットのある仕組みとなっている。

さらには「AI 点呼」を活用し体温・血圧・アルコールチェックを徹底している。札幌や苫小牧の営業所とリモート連携可能であり、安心・安全な物流サービスの提供を揺るぎなく確保している。

その他、車中泊となる際には、「車中泊手当」を支給する等、ドライバー経験のある社長だからこそ実現できる現場目線のサポート制度を整えている。

【AI 点呼に用いる各種機器】



運行前後にアルコールチェック、体温、血圧等の検査を実施する。
ドライバーの健康管理の徹底、点呼業務の効率化、そして運行管理者の労務改善も実現すべく、業界に先駆けて AI 点呼を導入。

出所：プライドライナー 提供資料

¹ デジタルタコグラフ…車両の運行情報をデジタルデータとして、記録・管理する機器

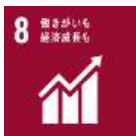
5. サステナビリティ目標

株式会社プライドライナーの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、株式会社プライドライナーの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、株式会社プライドライナーのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガスの可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	正社員の年間労働時間を 1,923 時間以下にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1 脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2 ワークライフバランスの充実

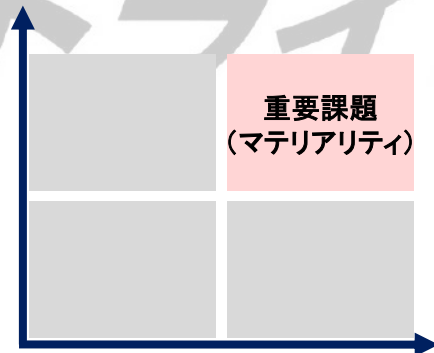


正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



当社の
企業成長

北旺工業有限公司

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

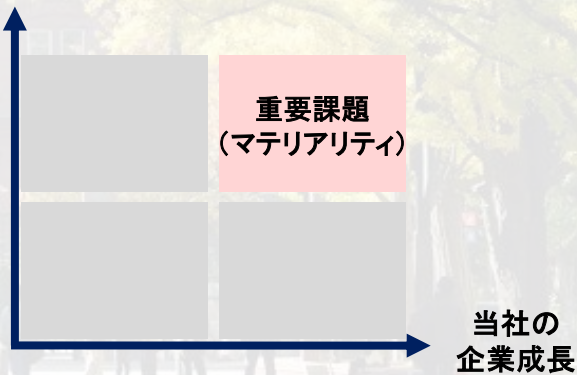
目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	 	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	 	正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



ボドバーレ株式会社
サステナブル経営支援ローン
評価レポート

評価日: 2025 年 9 月 29 日

株式会社北洋銀行
円山公園支店

1. 基本情報

企業名	ボドバーレ株式会社
代表者名	板谷 孝之
所在地	札幌市中央区南7条西12丁目4番3号
設立	2022 年 8 月
資本金	100 万円
従業員	8 名 (2025 年 9 月現在)
業種	不動産業
事業内容	- 不動産売買・仲介 - 土木・建築工事(リフォーム工事、カーポート等設置、外構工事全般)

2. 経営理念・コンセプト

経営理念・コンセプト

お客様一人ひとりのご要望や理想に寄り添った不動産売却

上記がボドバーレの経営理念・コンセプトであり、具体的には下記の点を重視している。

○お客様のニーズの理解と透明性の確保

お客様一人ひとりのニーズを理解し、手数料や費用についても透明性を保ち、納得のいく条件での取引を目指しています。

○豊富な経験と専門知識の活用

経験豊富で専門知識を持つスタッフが、不動産売却だけでなく、リフォームや外構工事などにも柔軟に対応し、最適な提案を行います。

○資産価値の向上と円滑な手続きの実現

大切な資産を正しく評価し、不動産市場の変動にも迅速に対応しながら、円滑な手続きと資産価値の向上に尽力します。

3. 事業概要

ボドバーレは札幌市に本社を置く不動産会社である。拠点を構える札幌を中心に、顧客の経済性を考慮した不動産売買・仲介から、不動産売買・仲介に関連する外構工事やリフォーム工事、さらには住宅ローンをはじめとした融資の相談までワンストップで対応する。

当社は「省エネ性能」と「顧客の経済性」の双方に貢献できるリフォーム工事を目指している。具体的には、太陽光パネルの設置や断熱性能の高い家への改修を行い、可能な限りの省エネ性能を提供している。これにより、脱炭素社会の実現への貢献という環境面と、顧客の家計にも優しくなるという経済面の双方に貢献する住宅リフォームを提供している。

■ 施工事例 before



■ after



出所：ボドバーレ 提供資料

ボドバーレは、当社で働く人材を事業運営上の重要な財産のひとつとしている。従業員のエンゲージメント向上に資する取り組みとして、特にワークライフバランスと、福利厚生の充実に取り組んでいる。

ワークライフバランスの面では、経営者みずから従業員への休暇取得を促すことで、休暇を取得しやすい職場環境を醸成しており、有給休暇取得率、育児休暇取得率は 100%を達成している。また、多雪寒冷な北海道ならではの制度として「ウィンタータイム」を導入している。北海道の冬季は朝に自宅の雪かきが必要なことや、交通機関が混雑することを踏まえて 30 分始業時間を遅らせ、終業時間は据え置く当社ならではの制度である。この制度は従業員の負担軽減のみならず、冬季に嵩みがちな電力や暖房用の灯油の削減といった環境面にも配慮した取り組みとなっている。

賃金・福利厚生面では、消費者物価指数を上回る賃金上昇への取り組みを継続。NISAなどの資産形成の勉強会を開催しているほか、「iDeCo+」の制度を導入し従業員の現在と将来の資産形成を後押ししている。

他にも従業員同士の交流を図る季節ごとのイベントを開催するなど従業員のエンゲージメント向上、組織の活性化を図っている。

■ 社内の様子



出所：ボドバーレ 提供資料

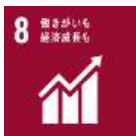
4. サステナビリティ目標

ボドバーレの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、ボドバーレの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、ボドバーレのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガスの可視化を実現する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	人的資本経営の推進
目 標 ・ K P I	消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。

ボドバーレ株式会社

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

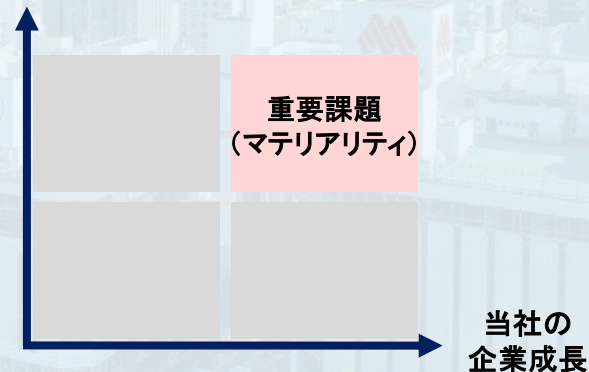
- | | | | |
|---|-------------|---|---------------------------|
| 1 | 脱炭素社会実現への貢献 |   | 温室効果ガス排出量の可視化を実施する。 |
| 2 | 人的資本経営の推進 |   | 消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。 |

目標・KPIs

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社丸一小林電設

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題（マテリアリティ）

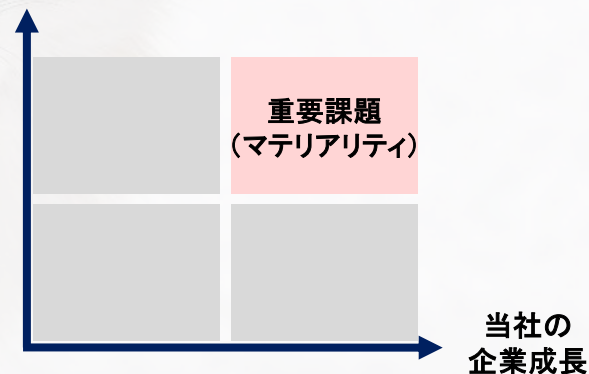
目標・KPIs

- | | | | |
|---|-------------|---|---------------------------|
| 1 | 脱炭素社会実現への貢献 |   | 温室効果ガス排出量の可視化を実施する。 |
| 2 | 人的資本経営の推進 |   | 消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。 |

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社ミートプラザかやね

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

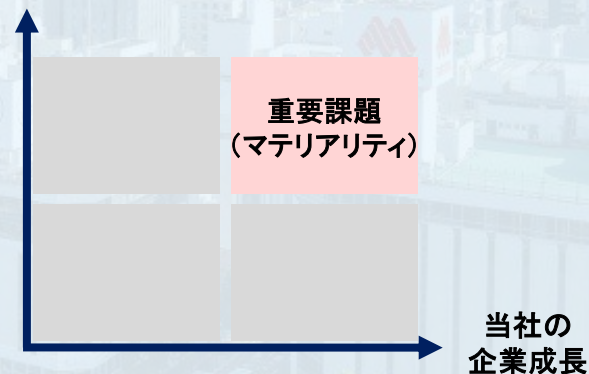
目標・KPIs

- | | | | |
|---|-------------|---|---------------------------|
| 1 | 脱炭素社会実現への貢献 |   | 温室効果ガス排出量の可視化を実施する。 |
| 2 | 人的資本経営の推進 |   | 消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。 |

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



株式会社みしな

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1 脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2 ワークライフバランスの充実



有給休暇取得率を70%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿

重要課題
(マテリアリティ)

当社の
企業成長

有限会社山崎工務店

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

1

脱炭素社会実現への貢献



2

人的資本経営の推進



目標・KPIs

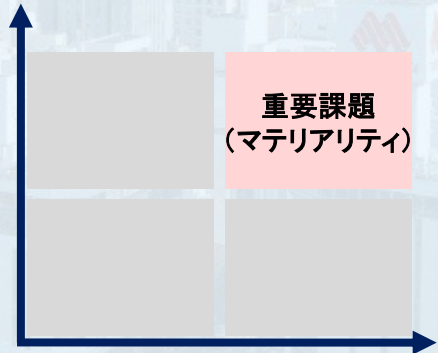
温室効果ガス排出量を2030年まで毎年2.7%以上削減する。

消費者物価指数を上回る賃金上昇を継続して実施する。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



当社の
企業成長

りんご動物病院さっぽろ犬猫歯科

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1

脱炭素社会実現への貢献



温室効果ガス排出量の可視化を実施する。

2

ワークライフバランスの充実

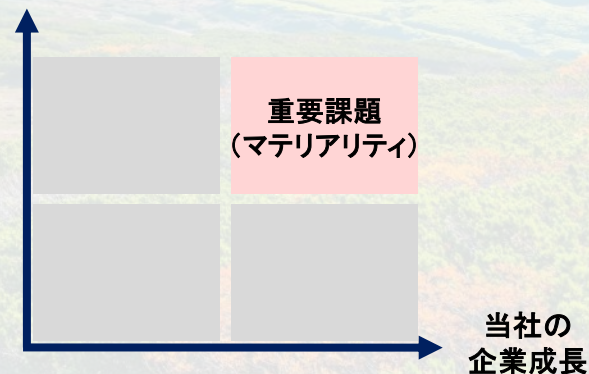


正社員の年間総労働時間を1,923時間以下にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿



ワンダーストレージホールディングス株式会社

Sustainability Commitment

2025年9月

私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の企業行動を行うことを誓約します。

重要課題 (マテリアリティ)

目標・KPIs

1	脱炭素社会実現への貢献	 	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
2	ワークライフバランスの充実	 	育児休暇取得率を、男性で64%以上、女性90%以上にする。

重要課題と目標・KPIについて

当社は北海道総合計画等を参照し、北海道の目指す姿に貢献しながら、自社の企業価値向上に繋がる取り組みを「重要課題」と特定し、その実現に向けた目標・KPIを設定しています。

北海道が目指す姿

